

第1号議案

2023年度 事業報告書 別紙

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

2024年5月24日

一般社団法人 日本自動車車体工業会

目 次

	ページ
1. 2023 年度事業報告と 2024 年度事業計画概要	1
2. 会員状況	
2-1 会員数	3
2-2 会員売上高 2023 年度調査 (2022 年度決算)	4
2-3 2023 年度主要車種の生産状況	5
2-4 生産状況の 10 年間の推移	6
3. 本部活動実績	
3-1 2023 年度通常総会、理事会の開催	9
3-2 委員会活動報告	
・C N 専門委員会	1 4
・中央技術委員会	1 5
・環境委員会	1 6
・中央業務委員会、中小会員ネットワーク強化WG、安全衛生活動WG、現地現物による技能系社員研修	1 7
・広報委員会、商用車ショー企画委員会	1 8
3-3 事務局業務報告	
1) 会員会社に対する各種有用施策の調査、情報提供	
(1) 2023 年度法規関係情報一覧	1 9
(2) 2023 年度各省庁からの展開項目一覧	2 2
(3) 卓越した技能者表彰 受章	2 2
(4) 安全優良職長厚生労働大臣顕彰 受賞	2 3
2) 自主管理作業	2 3
(1) ミキサ・ドラムの自主審査	
(2) 塵芥車の荷箱中心位置の国交省届出	
(3) 脱着キャリア／コンテナの登録管理	
(4) 難燃内装材の素材登録	
(5) 車両運搬車トレーラとトラクタの組合せ審査	
3) 三工業会合同事業	2 3

	ページ
4. 部会活動報告	
・特装部会	2 4
・特種部会	2 5
・トラック部会	2 6
・バン部会	2 7
・トレーラ部会	2 8
・バス部会	2 9
・小型部会	3 0
・資材部会	3 0
・部会会議実績	3 1
・部会員数	3 2
5. 本部行事・委員会・部会開催一覧	3 3
6. 支部活動報告	
6-1 支部活動まとめ	4 6
6-2 支部活動実績一覧	4 7

1. 2023 年度事業報告及び 2024 年度事業計画 概要

＜取り巻く環境＞

= 世界経済 =

- ・コロナ禍の終息の一方、ロシアのウクライナへの軍事侵攻継続、中東紛争の激化等地政学リスクの厳しさが増す足下の状況
- ・IMFによる経済成長率見通しは、2024 年には 3.2%。2000 年から 2019 年の平均である 3.8%を下回る（要因は物価抑制のための中央銀行の引き締め政策、一部の国の公的支出削減）
- ・イエメンの親イラン武装組織による紅海での攻撃や中東紛争の拡大等、不安定な国際情勢による商品価格高騰や高金利を長期化させるインフレの下振れリスクもあり

= 日本経済 =

- ・日本経済はデフレ経済から、30 年ぶりとなる高水準の賃上げや名目 100 兆円と過去最高の国内投資見通しとなる等成長型経済への転換局面
- ・2024 年は、好調な企業収益が物価高を上回る賃上げや設備投資の拡大に繋がり、コロナ禍で積み上がった過剰貯蓄の取り崩しや雇用・所得環境の改善等により個人消費等内需拡大の見込み
- ・一方、物価高による家計の節約志向や海外経済減速、人出不足を背景とした供給制約等、景気の下振れリスクあり

= 国内商用車市場 =

- ・2023 年度の国内新車販売台数は、4,528 千台（前年度比 103%）と、半導体供給の緩和等もあり 2 年連続で前年超え
- ・国内商用車販売（貨物車 + 大型バス）は、350 千台（同 100.7%）と 2 年ぶりの前年超え、大中型貨物車は、シャシー供給の回復等もあり、67.6 千台（同 123%）と 2 年ぶりの前年超え
- ・2024 年の商用車需要は、国内需要の回復を受け、一部の車種を除き、緩やかな回復継続と想定

= 商用車市場内のポイント =

- ①国内貨物自動車輸送量（NX 総研見通し）2023 年度 3,784 百万トン（前年度比 98.9%）
2024 年度 3,771 百万トン（同 99.6%）
- ・貨物車(小型+普通)保有台数（2023 年 12 月末）：5,980 千台、+約 24 千台（前年度比 100.4%）
- ・普通貨物車平均使用年数（2023 年 3 月末）：18.62 年（対前年+0.13 年）、過去最長を 11 年連続で更新
- ・運送事業者の景況感は大幅改善傾向（全日本トラック協会調査 2024 年 2 月 14 日公表）
今回（2023 年 10-12 月）▲17.7（前回比+15.8）
今後の見通し（2024 年 1-3 月）▲15.0（今回比+2.7）
- ②バス輸送業界：路線バスは既に国や自治体の支援なく維持困難な状況が更に拡大

日本政府観光局（JNTO）発表の 2023 年訪日外国人旅行者数 2,507 万（対前年 6.5 倍）
コロナ禍前 2019 年比 78.6%まで改善、（※2024 年 1-3 月は 2019 年比 106%まで急回復）
観光バスの回復を後支えの可能性

- ③2024 年問題：2024 年 4 月以降、自動車運転業務の年間時間外労働時間上限 960 時間に制限
トラックドライバーの労働環境向上の一方で収入減、運送・物流業者の利益減少、更には労働力不足等、
幅広く課題顕在化の可能性
- ④車載式故障診断装置（OBD）活用検査：2024 年 10 月以降の継続検査より開始
- ⑤自動車燃費性能の表示：高燃費自動車の普及促進を目的に、2024 年 1 月より 2030 年度基準を
達成した車両への表示を開始

＜当会会員生産台数＞

- ・2023 年度生産実績は合計 215 万台（前年度比 110%）と 2 年連続で前年度超え
- ・当会特有の非量産車は 149 千台（同 109%）と 6 年ぶりに前年超え
- ・部会別：特装同 100.8%、特種 97.2%、トラック 100.0%、バン 121%、トレーラ 86.9%、バス 107%

＜会員状況（2024 年 3 月末時点）＞

- ・正会員数は 213 社（前年度比 2 社増加、新入会 3 社、退会 1 社）
- ・準会員は 106 社（前年度比 1 社増加、新入会 2 社、退会 1 社）
- ・総会員数は 319 社（前年度比 3 社増加）
- ・会員売上高調査（2022 年度決算）で正会員の車体部門では 5 兆 6,861 億円（前年度比 113%）
非量産会社の車体部門売上は 6,001 億円（同 98.5%）と 3 年連続の減収
- ・会員景況指数（增收会社率 - 減収会社率）は、2022 年度は前年度比 +2.6 と若干改善し、-24.2

＜2023 年度事業実績＞

- ・従来活動の推進に加え、時代に応じた新たな取組みが必要。ポイントは「中長期視点」、「新たな課題の取り込み」、「相互研鑽・現場訪問の活用」、「ガバナンス強化・業務効率化」
- ・6 項目を重点に 2023 年度は取組み 1)カーボンニュートラル（C N） 2)安全への取組み
3)環境への取組み 4)中小企業支援活動 5)活性化活動 6)ガバナンス強化・業務効率化

＜2024 年度事業計画＞

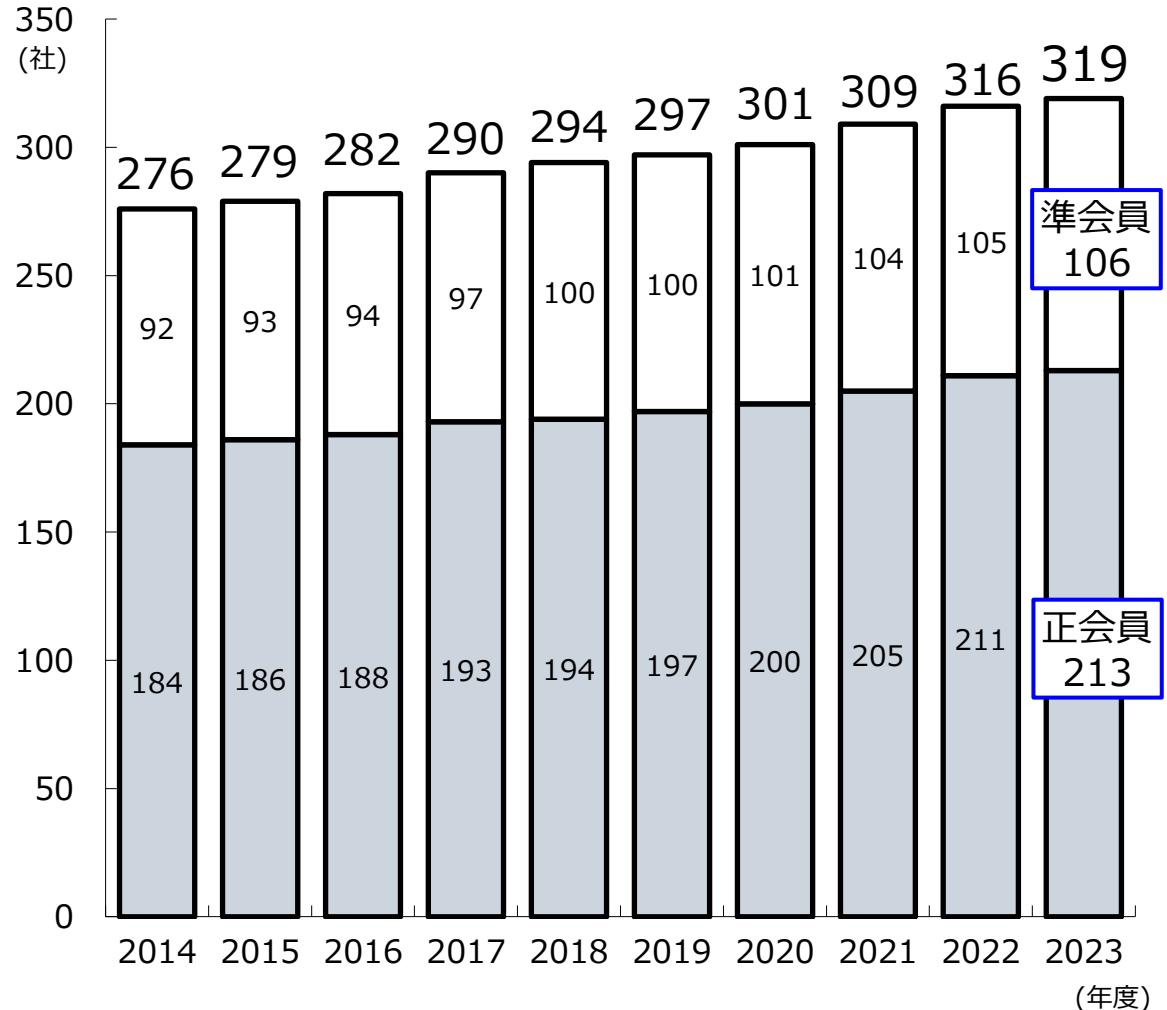
- ・2023 年度同様、重点 6 項目を継続取組み
1)カーボンニュートラル（C N） 2)安全への取組み 3)環境への取組み
4)中小企業支援活動 5)活性化活動 6)ガバナンス強化・業務効率化

2.会員状況「2-1.会員数」

23年度増減

区分	23年度増減		23年度末
	入会	退会	
正会員	3社 7月 TAKANO WORK'S(株) 1月 夕ニ工業(株) 3月 ジーエムいちはら工業(株)	1社 7月 (株)室井製作所	213社
準会員	2社 10月 (株)アサイマーリングシステム 3月 (株)コラント	1社 3月 (株)TBカワシマ	106社
合計	5社	2社	319社

過去10年の推移



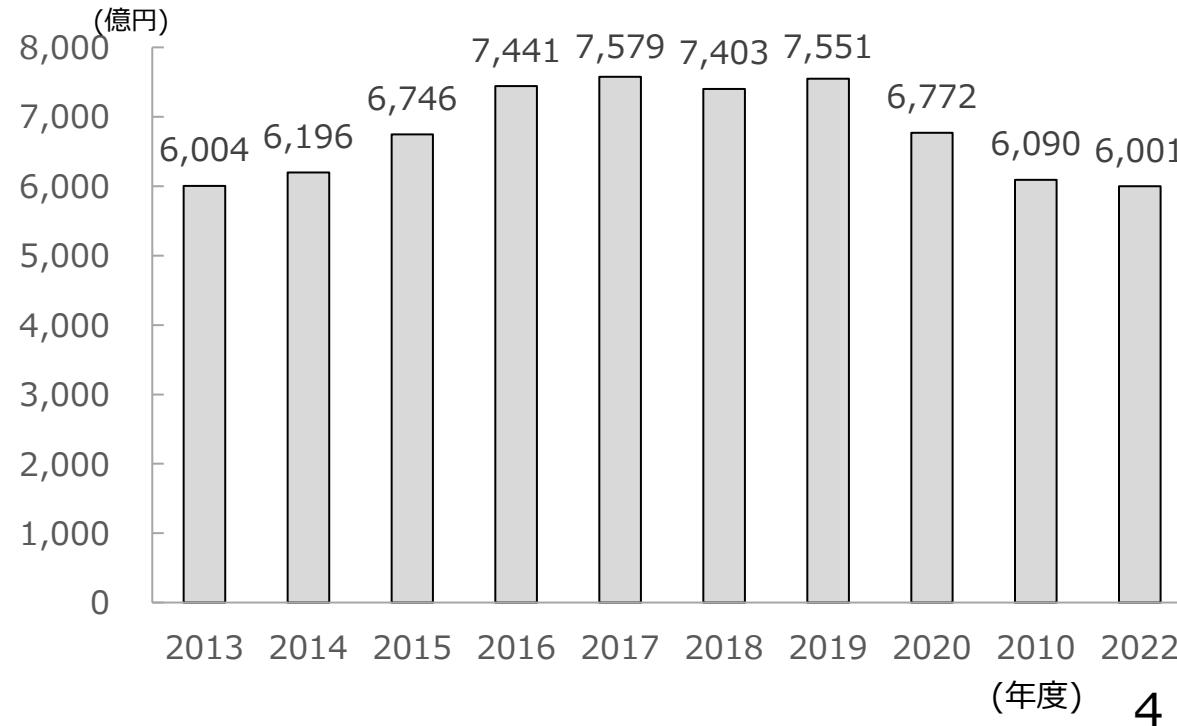
2.会員状況「2-2.売上高・従業員数(22年度決算値)」

◆ 会員全体

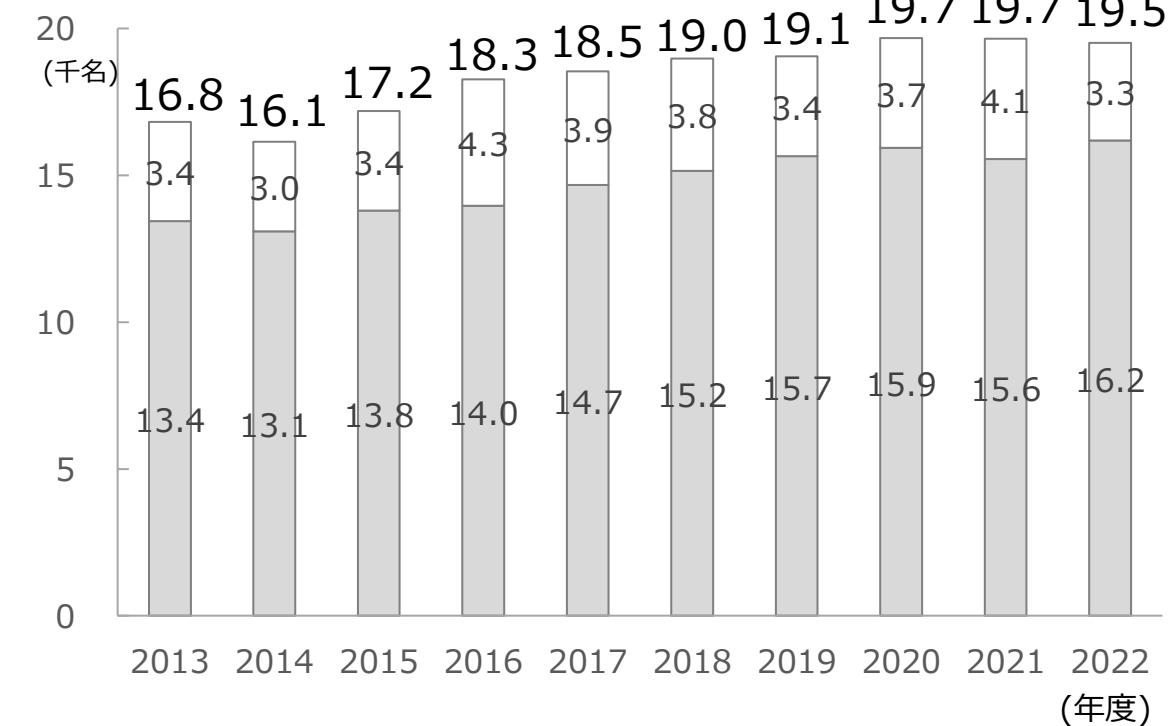
年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
調査会社数	184	184	186	188	195	195	198	202	209	211
売上高(億円)	52,124	50,446	54,437	57,166	57,927	61,087	64,457	63,136	50,285	56,861
従業員数(名)	46,056	43,260	52,523	54,492	54,676	58,803	61,022	59,776	59,998	59,512

◆ 非量産車製造会社

売上高



従業員数



2.会員状況「2-3.2023年度主要車種の生産状況」

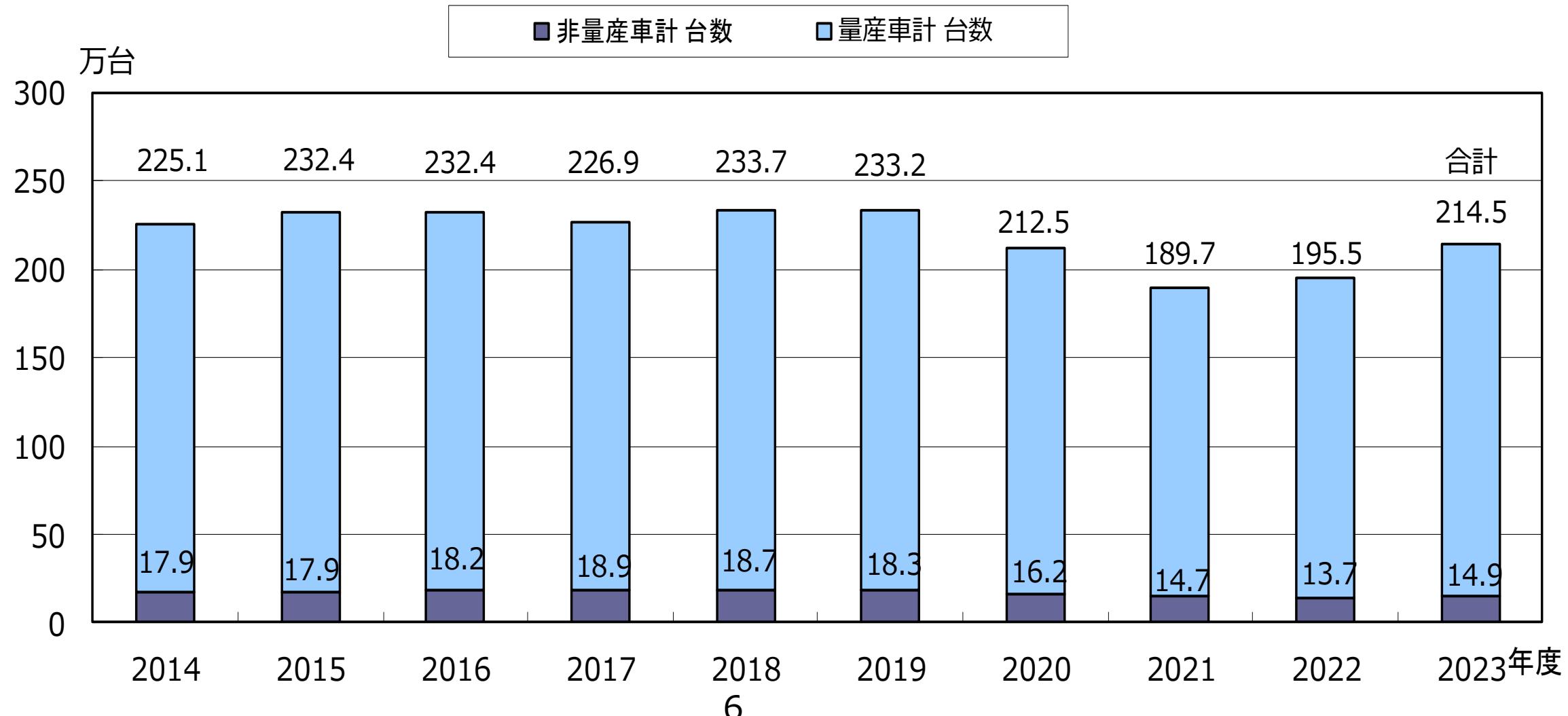
		2023年度		
		台数	前年 同期比(%)	
全 体	国 内	1,030,739	107.3	
	輸 出	1,114,645	112.1	
	合 計	2,145,384	109.8	
非量産車 (*印の車両)	国 内	142,495	110.2	
	輸 出	6,626	86.7	
	合 計	149,121	108.9	
*特装	国 内	輸送系車両	31,862	105.8
	内	作業系・その他車両	12,036	97.0
		小 計	43,898	103.3
		輸 出	6,365	86.3
		合 計	50,263	100.8
*特種	国 内	量産系	5,396	89.9
	内	非量産系	4,129	108.6
		小 計	9,525	97.1
		輸 出	261	98.1
		合 計	9,786	97.2
平ボデー トラック	国 内	標準型 (シャシメーカー標準)	7,964	93.2
		*大 型	4,646	114.8
		*中 型	3,585	109.4
		*小 型・輕	5,349	94.2
		小 計	13,580	104.4
		合 計	21,544	100.0

		2023年度		
		台数	前年 同期比(%)	
*バン	国 内	大 型	21,755	157.4
		中 型	18,458	113.3
		小 型・輕	25,068	106.0
		合 計	65,281	121.4
*トレーラ	国 内	コンテナ	2,271	84.8
		バ ン	2,199	81.6
		平床	1,468	88.3
		その他	1,347	99.9
		合 計	7,285	86.9
バス	国 内	* 大・中	2,926	157.0
		その他	6,249	133.2
		小 計	9,175	140.0
		輸 出	63,318	103.7
		合 計	72,493	107.2
乗用 小型商用 軽	国 内	国 内	874,031	106.9
		輸 出	1,044,701	112.9
		合 計	1,918,732	110.1

[注] トラック運転台及びテールゲート等の装置生産台数は含んでいません。

2.会員状況「2-4.生産状況の10年間の推移」

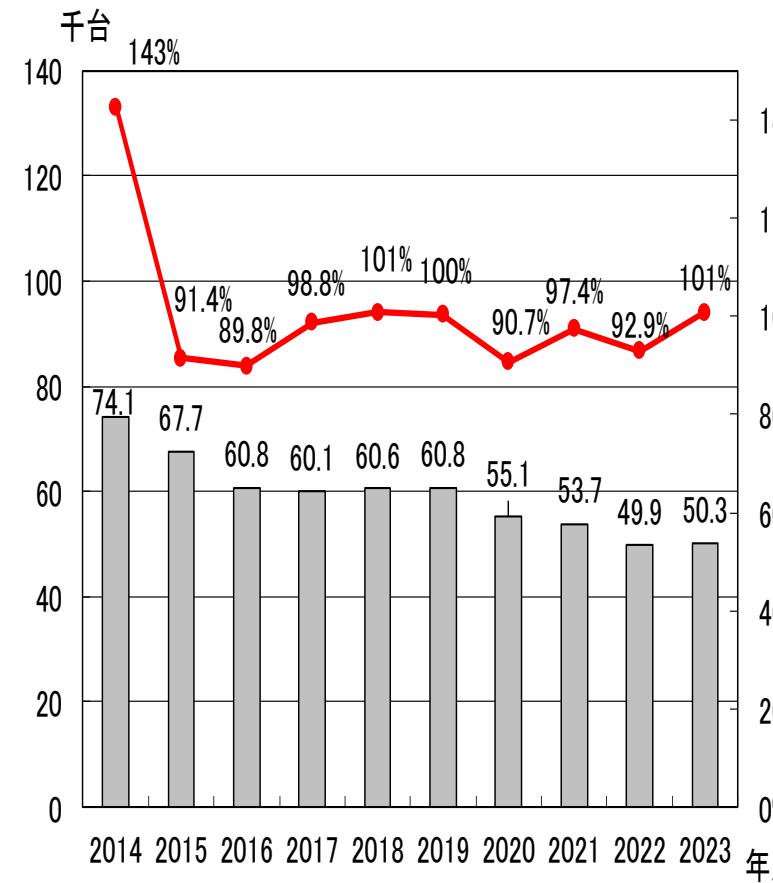
全会員生産台数



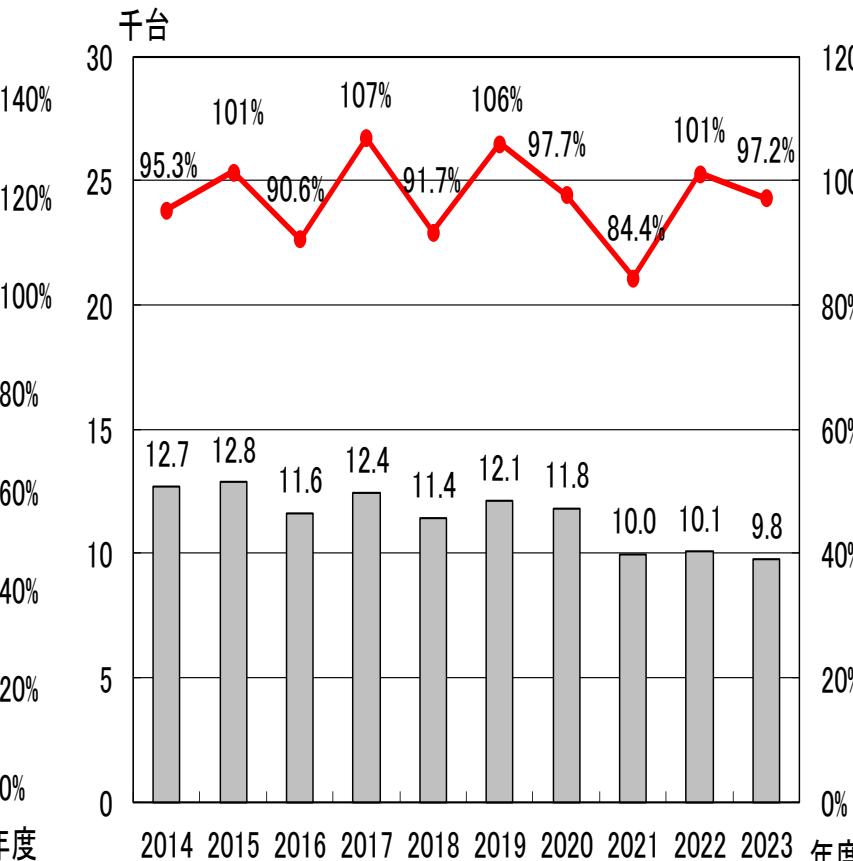
2.会員状況「2-4.生産状況の10年間の推移」

◆非量産車種別生産台数

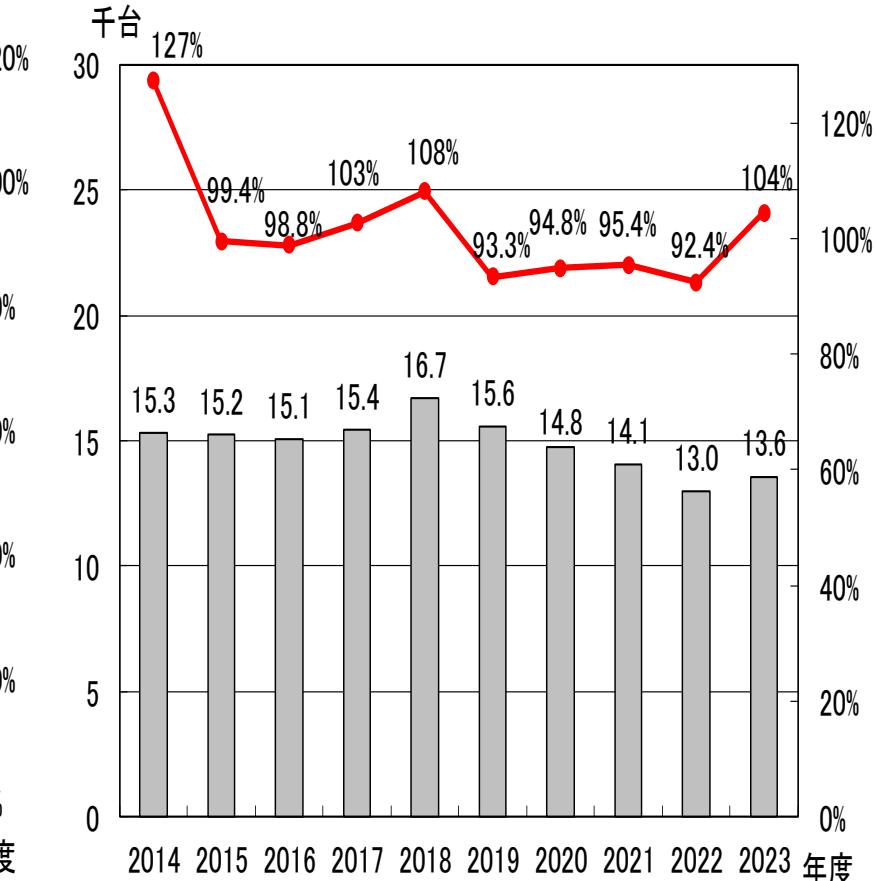
特装車



特種車



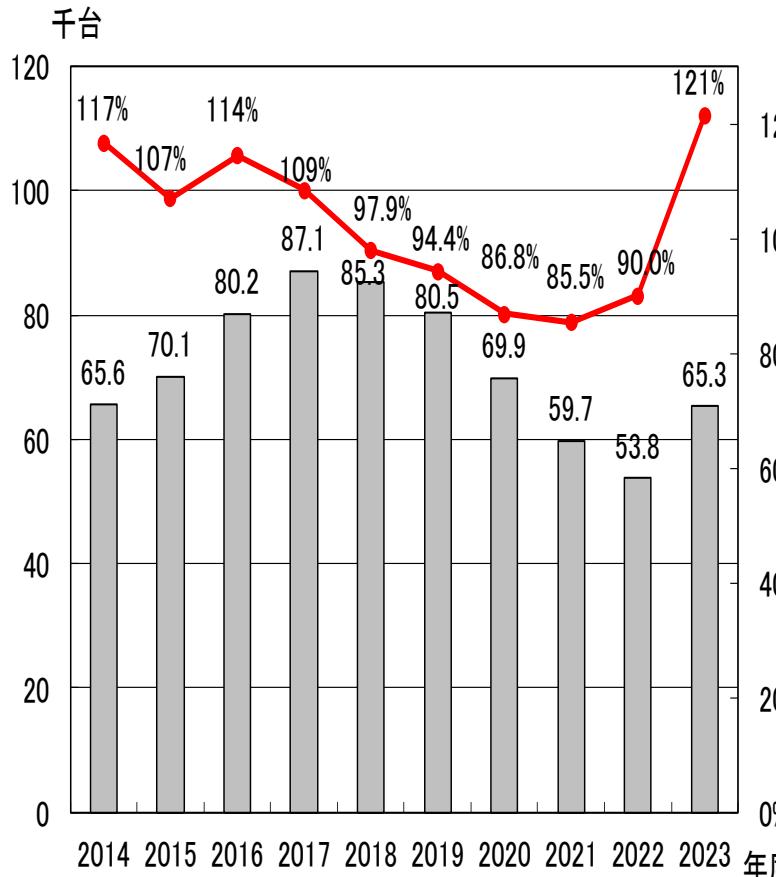
平ボデートラック



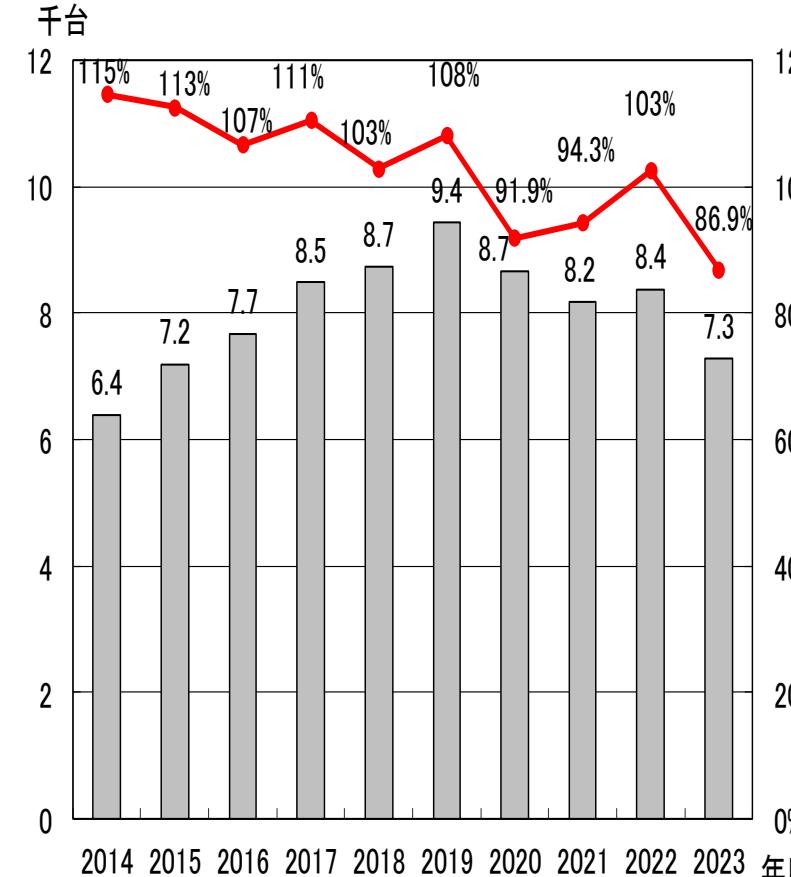
2.会員状況「2-4.生産状況の10年間の推移」

◆非量産車種別生産台数

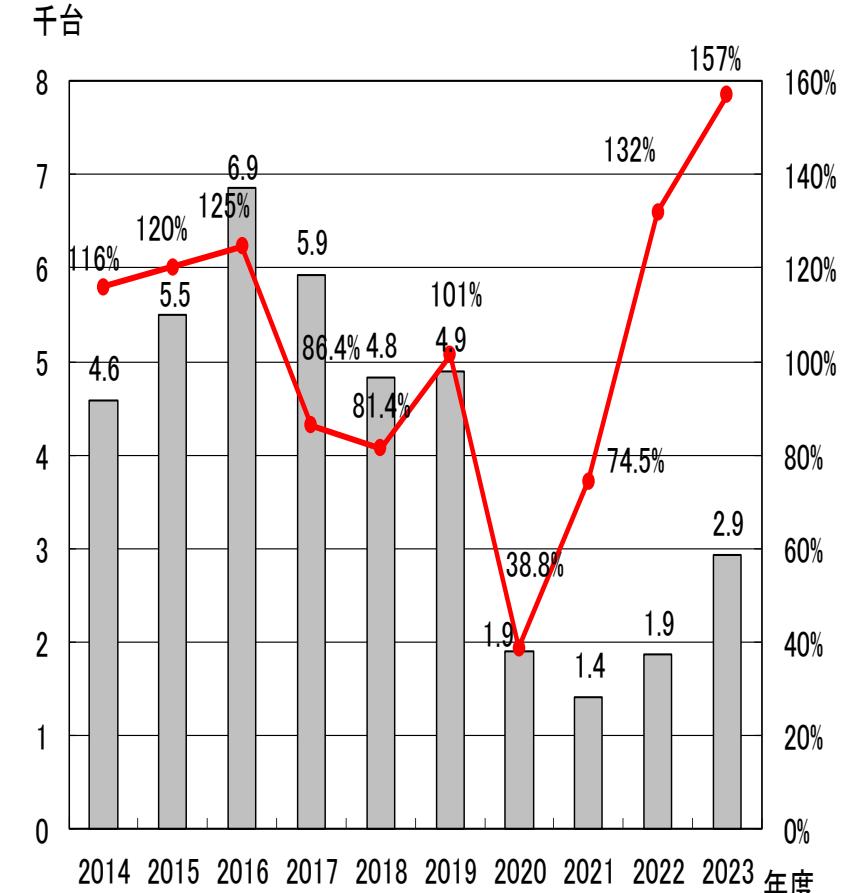
バン



トレーラ



バス(大型・中型)



3 - 1 2023 年度通常総会、理事会の開催

1) 2023 年度通常総会

日 時 2023 年 5 月 26 日 (金) 15:30~16:03
場 所 グランドプリンスホテル高輪「プリンスルーム」+ Web 会議
出席者数 会場での出席正会員 71 社
Web 会議での出席正会員 33 社
委任状による出席正会員 106 社
計 210 社
出席準会員 56 社

(1)議 事

第 1 号議案 2022 年度事業報告の件
第 2 号議案 2022 年度決算報告の件
第 3 号議案 2023 年度事業計画案の件
第 4 号議案 2023 年度収支予算案の件
第 5 号議案 2023・2024 年度理事・監事選任の件
全ての議案は、原案通り承認された

(2)車体工業会功労者等表彰

①退任役員感謝状贈呈

氏名	会社名	会社役職(2023 年 5 月 26 日時点)
宮内 一公	トヨタ自動車東日本(株)	取締役会長
田沼 勝之	新明和工業(株)	取締役専務執行役員
吉川 徳雄	天龍工業(株)	取締役社長
鎌田 直樹	北海道車体(株)	常務取締役
吉田 量年	日本自動車車体工業会	専務理事
原田 泰彦	(株)トランテックス	顧問

②車体工業会功労者表彰

委員会・部会、氏名五十音順

氏名	委員会・部会	会社名	会社役職 (2023 年 5 月 26 日時点)
杉山 透	カーボンニュートラル 専門委員会	トヨタ車体(株)	アグリット環境生技部 カーボンニュートラル企画室 室長
原田 修	中央技術委員会	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 ニアイバート

長田 善彦	中央技術委員会	新明和工業(株)	特装車事業部 品質保証部長
松井 賢一	カーボンニュートラル 専門委員会	トヨタ自動車東日本(株)	P E・環境部 部長
薬丸 達也	カーボンニュートラル 専門委員会	(日産車体(株))	(安全環境部 部長)

③優良従業員表彰

正・準会員、社名五十音順

氏名	会社名	会社役職(2023年5月26日時点)
岡田 進	岐阜車体工業(株)	安全健康推進部 参事
中嶋 宏之	(株)シスコム	製造管理部 担当部長
岩見 晴之	須河車体(株)	技術部 設計グループ 設計チーム
丹羽 広明	名古屋ボデー(株)	製造部 部長

④永年在籍会員表彰

<正会員>

入会順

70年	1社	トヨタ自動車東日本(株)
60年	2社	(株)加藤製作所、古河ユニック(株)
50年	5社	いすゞ自動車首都圏(株)、(株)東光冷熱エンジニアリング、(株)東洋ボデー、(株)トノックス、(株)柳田自動車工業所
40年	1社	郡司車体(株)
30年	7社	(株)青木製作所、(有)市川自動車ボデー、カーゴテック・ジャパン(株)、西南自動車工業(株)、(株)ディ・エヌ・ケー、帝国繊維(株)、トヨタ自動九州(株)
20年	4社	飛鳥特装(株)、オオシマ自工(株)、サンモア(株)、(株)モリタエコノス
10年	5社	(有)相沢自動車ボデー工場、愛宕自動車工業(株)、(株)オーティーエス、西鉄車体技術(株)、(株)メイダイ

<準会員>

40年	1社	ロンシール工業(株)
30年	9社	アキレス(株)、共和ライフテクノ(株)、共和レザー(株)、シンコールマテリアル(株)、タキロンシーアイ(株)、東リ(株)、(株)バイス、富双合成(株)、明和グラビア(株)
20年	1社	吉村製材(株)
10年	5社	エバスペヒヤー ミクニ クライメット コントロール システムズ(株)、(株)パーマンコーポレーション、(株)ハナイ、マルワ工業(株)、ヨースト・ジャパン(株)

2) 臨時理事会

日時・場所・参加者数	内容
<日時> 2023/5/26	会長（代表理事）、副会長及び専務理事選定の件
<場所> グランドプリンス高輪 「プリンスルーム」+ Web 会 議	会長（代表理事） 増井 敬二 副会長 吉村 東彦 副会長 布原 達也 副会長 矢野 彰一 専務理事 板倉 範顕
<出席者数> 理事総員 31名 出席理事 27名 (出席監事 3名)	全員一致をもって、上記のとおり選定 選定者は、席上その就任を承諾

3) 理事会

日時	内容
第 271 回 2023/4/20	<p>① 審議事項</p> <p>第 1 号議案 2022 年度事業報告まとめ</p> <p>1-1 事業報告概要</p> <p>1-2 会員状況</p> <p>1-3 会員会社の車体生産状況の推移</p> <p>1-4 本部活動実績一覧</p> <p>第 2 号議案 2022 年度収支決算報告</p> <p>第 3 号議案 2023 年度事業計画（案）</p> <p>3-1 事業計画概要</p> <p>3-2 本部委員会事業計画</p> <p>3-3 部会事業計画</p> <p>3-4 支部事業計画</p> <p>第 4 号議案 2023 年度収支予算（案）</p> <p>第 5 号議案 2023-2024 年度理事・監事（案）</p> <p>第 6 号議案 2023-2024 年度相談役承認に関する件</p> <p>第 7 号議案 2023 年度車体工業会優良従業員表彰（案）</p> <p>第 8 号議案 2023 年度車体工業会功労者表彰・永年在籍会員表彰（案）</p> <p>② 報告事項</p> <p>1) 2023 年度本部委員会体制</p> <p>2) 2022 年度会員のリコール等重大不具合結果</p> <p>3) ジャパンモビリティショー 2023『働くくるまの合同展示』について</p> <p>4) 2022 年度国内商用車販売状況</p>

	<p>5) 最近の官公庁情報</p> <p>6) 会からのトピックス(特装部会)</p> <p>7) その他報告事項</p> <p>7-1 車体 NEWS 原稿依頼先一覧表</p> <p>7-2 7月開催の講演会について</p>
第 272 回 2023/7/20	<p>① 審議事項</p> <p>第 1 号議案 新入会員に関する件</p> <p>② 報告事項</p> <p>1) CN の取組み状況</p> <p>2) 2023 年度事業計画 本部・部会・支部別 1/4 期実績まとめ</p> <p>3) 2023 年度 1/4 期 収支実績まとめ</p> <p>4) 商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況</p> <p>5) 税制改正に関する要望</p> <p>6) 最近の商用車販売及び会員生産台数</p> <p>7) 部会・支部からのトピックス(トラック部会・新潟支部) 他</p>
第 273 回 2023/10/19	<p>① 審議事項</p> <p>第 1 号議案 新入会員に関する件</p> <p>② 報告事項</p> <p>1) 経団連「モビリティ委員会」報告</p> <p>2) CN の取組み状況</p> <p>3) 2023 年度事業計画 本部・部会・支部別 2/4 期実績まとめ</p> <p>4) 2023 年度 2/4 期 収支実績まとめ</p> <p>5) 2023 年度 JABIA 規格化・標準化/調査研究 2/4 期進捗報告</p> <p>6) CO2・VOC 排出量フォローアップ結果</p> <p>7) 2022 年度会員原簿調査結果</p> <p>8) 2022 年度 PL 保険加入状況</p> <p>9) ジャパンモビリティショー 2023 当会合同展示について 他</p>
第 274 回 2024/1/18	<p>① 審議事項</p> <p>第 1 号議案 新入会員に関する件</p> <p>② 報告事項</p> <p>1) CN 取組み状況</p> <p>2) 2023 年度 3/4 期事業計画 進捗状況</p> <p>3) 2023 年度 3/4 期収支実績</p> <p>4) 2023 年度 JABIA 規格化・標準化/共通化/調査研究 3/4 期進捗報告</p> <p>5) 産業廃棄物最終処分量 2022 年度実績</p> <p>6) 2024 年度税制改正大綱の概要</p> <p>7) 2024 年度予算案と 2023 年度補正予算について</p>

	8) ジャパンモビリティショー2023・車体工業会ブース実施結果報告 9) 最近の商用車販売及び会員生産台数 10) 部会、支部からのトピックス(トレーラ部会、中部支部) 11) 最近の官公庁関係情報 12) その他 12-1 2024年2月常任委員会開催について 12-2 2024年度車体工業会主要会議日程 12-3 2024年度車体工業会功労表彰受賞者の推薦 12-4 2024年度車体工業会優良従業員表彰受賞者の推薦
第275回 2024/3/14	① 審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 第2号議案 2024年度通常総会の改善(案)に関する件 第3号議案 2023年度事業報告 及び 2024年度事業計画(案)に関する件 第4号議案 2023年度収支報告及び2024年度収支報告書に関する件 第5号議案 評議員変更に関する件 ② 報告事項 1) 2023年度 JABIA 規格化・標準化／共通化／調査研究実績及び次年度計画 2) 最近の官公庁情報 3) 支部からのトピックス(近畿支部) 4) その他報告事項 4-1 2024年度 車体工業会主要会議日程(見直し)について 4-2 2024年度 通常総会の開催について 4-3 2024年度 支部・部会総会計画について 4-4 2024年度 車体工業会海外(IAA)視察について

3-2. 委員会活動報告

2023年度事業計画(CN専門委員会) 委員長:増井理事 事務局:板倉、小森、森田

◎:大幅過達(120%以上) ○:計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	役割分担	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
CN専門委員会	CN専門委員会 6月、10月、12月開催	CN専門委員会 (増井委員長)	○					○		○						・CN専門委員会 #21(2023年度第1回:6/29)、#22(2回:10/17)、#23(3回:12/14)実施済 -各委員会の活動内容をCN専門委員会で確認 -2024年度の方向性として、本部委員会に加え部会(・支部)活動にシフトする旨を議論、承認
	1. 他団体連携 <ねらい> 2050年までの長期活動を		(1)自動車5団体活動との連携 (2)モビリティ委員会(経団連) (3)CJPT、自工会、JTP等連携												○	・部工会CN活動のヒアリングを実施。体制や事例整理につき学び ⇒ 2024年活動へ反映 -第3回モビリティ委員会(10/5):モビリティ産業への発展による新しい価値創造、CO2削減、 物流・商用の高付加価値化等が提言される -CJPTとの情報交換(6/13)
	2. 現状把握 <ねらい> 業務・技術課題、 困りごと把握と対応		(1)実態把握 ①アンケート調査、困りごとの吸上げ ②集計結果の分析、各委員会、部会への展開 (2)取組み内容検討、事業計画見直し・項目追加等	中央業務委員会 (矢野委員長)	2022年度アンケート 内容集計					2023年度アンケート 調査、解析					○	・中央業務委員会報告による確認
	3. 理解活動 <ねらい> 情報収集・展開、 勉強会等で CN活動推進を喚起		(1)CN取組みの事例収集(会員から) ①好事例の収集 ②事例集の作成 (2)事例展開(会員へ) ①車工会HP、車体NEWS等での開示 ②会員のCN取組み紹介(動画等の媒体も検討) (3)勉強会推進 ①CN勉強会、セミナー・講演会の開催 ②CN勉強動画の作成と会員への展開	環境委員会 (吉村委員長) 各部会 各支部	事例収集	集約、層別									○	・環境委員会報告による確認 ・広報委員会報告による確認 ・実践編7回済(4/25、5/29、6/27、8/28、9/26、10/20、12/22) ・入門編動画3部作作成・公開済(5月) ⇒2024年度以降の勉強会進め方検討
	4. 計画支援 <ねらい> CO2排出量把握始め 会員の活動計画立案 を支援		(1)CO2排出量の算出 ①算出依頼 ②集計結果の分析、層別、規模感ワードバック (2)LCA評価ツールの検討 (3)商用車電動化への対応 (4)リサイクル等のルール策定	環境委員会 (吉村委員長)	調査準備	調査期間	自工会連携	フォードバック							○	・環境委員会報告による確認 ・環境委員会報告による確認 ・中央技術委員会報告による確認 ・環境委員会報告による確認
	5. 実行支援 <ねらい> 会員の具体的な取組みの 実行を支援		(1)車工会目標の展開と推進方法の支援 (2)現地現物での具体的な取組み支援 (3)会員間の意見交換会 (4)エネルギー、CO2の見える化支援	環境委員会 (吉村委員長)	車工会目標の周知	個社目標の検討支援 (活動項目、対応案支援)			活動状況フォロー					○	・環境委員会支援WG 訪問2社済(山田車体工業㈱、㈱いそのボーダー) ⇒改善活動がCNの出発点と再啓発する方向性を確認	
				CN専門委員会 (増井委員長)	支援先検討・調整	現地訪問										
				環境委員会 (吉村委員長)	実施内容検討	実施		課題整理								
					フォーマット検討											

3-2. 委員会活動報告

2023年度事業計画(中央技術委員会) 委員長:布原理事 事務局:小森・上坂

◎:大幅過達(120%以上) ○:計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
中央技術委員会	中央技術委員会開催予定:4回/年	長田副委員長・原田副委員長・各委員			○3			○2	○6			○6			○	第1回(7/3)、第2回(10/2)、第3回(12/6)、第4回(3/6)
	1. 法規関係の対応 <ねらい>車両法規改正への対応は、技術委員会の最重要項目であり、実施していく。多種多様な特装架装については、一律の法文通りでは運用できないため、素案段階での意見反映や検査側と細部を調整する。技術的規制項目で業界や社会的メリットに繋がるもの緩和と要望を進めていく。また、決定後の会員指導等を十分実施し円滑な適用を徹底する。		(1)車両法規改正への意見反映と円滑な対応 ①法規改正案に対する意見反映 ②協定規則採用動向調査及び周知 ③上記以外の情報収集/周知 (2)法規改正後の会員指導の充実 ①法規改正情報の速やかな展開 ②保安基準の適用開始情報の周知 (3)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 ①R158後退時車両直後確認装置 ②R165車両後退通報装置 ③HDV-EDR(R169)法規導入												○	(1)①保安基準等意見照会4月以降49件(3/31時点、12月以降14件) ②バス3点式ベルト義務化については進展なし (2)①保安基準、審査事務規程等改正4月以降30件(3/31時点、12月以降11件) (3)①審査事務規程改正(第54次)を盛り込んだ解説書の改訂版を3/5会員展開 UN-R158改定後の基準が強化となる、後退中の画面切り替えニーズがあるかを調査依頼中、調査結果を基に国交省等と交渉予定 ②車両後退通報装置の残存課題について整理 ・みなし運用は自動車技術総合機構主催のWG(12/1, 12/19, 1/24, 2/20, 3/11) ・音声アラームの必要性については国交省と年度明けに調整を行う予定 ③HDV-EDR(R169)法規導入について 懸念される改造事例について、会員会社では行っていないことを確認した
	2. 基準化/標準化推進 <ねらい>車体関係規格は十分とはいえないため、上位規格への策定に参画すると共に		(1)・ISO、JIS、JASO規格作成への参画 ・ISO-TC297対応(手積み式塵芥車規格) ・ISO-TC195対応(路面清掃車) (2)JABIA規格等の充実と推進 ・JABIA規格改正3件、標準化等6件												○	(1)・B502-2024小改正(ダンプレバーS/W)提案についてJIS/JASO企画審議委員会の承認を得た(2/20) ・ISO/TC297国内審議委員会に出席(2/7) ・ISO/TC195WG1(冬季メンテナンス機器)の国際会議(Web)に参加(1/23, 2/26, 3/18) (2)各部会の取組み状況9件を中央技術にて報告(7/3, 10/2, 12/6, 3/6)
	3. 部品/装置/仕様の共通化推進 <ねらい>商品力に無関係部分や法規対応品を共通化し原価/開発費を削減する。		(1)装置/部品/仕様の共通化推進 (現時点アイテム無し、期中でフォロー)												○	・現時点アムなし、中央技術委員会でフォロー実施(7/3, 10/2, 12/6, 3/6)
	4. 部会調査研究の横断的推進 <ねらい>横断的課題が部会単位では動きづらいため、法規対応、自主的共同研究等の部会共通項目を中央技術委員会で対応していく。		(1)各部会の共通調査項目の充実と推進 ①再帰反射材のグレアに関する研究(資材) ②新JABIAリベット制度運用調査(中央)												○	①専門家の助言を踏まえ実験方法、内容を決定 被験者41名に対しグレア評価を実施、結果を技術発表会で報告。 ②次年度も新JABIAリベット制度運用調査を実施することを確認。
	5. 会員の技術レベルアップ支援 <ねらい>当会関係のリコール、PL事例から得た技術情報を共有化し、全体レベルを向上させる。また、発表会を開催し部会や各社の技術的情報交換を活発にしていく。		(1)重大不具合の再発防止策共有活動 ①リコール、改善措置、サービスキャンペーン ②PL事故事例情報 (2)技術発表会の開催(1月開催) (3)CN, CASE等先進技術への対応 ・商用車電動化での諸課題への対応 ・架装物動力源検討WG活動の推進 ・CS/SU&コネクテッド検討WG活動の推進												○	(1)・2023年度リコール等重大不具合32件(3/31時点、リ:23件、改:3件、サ:6件) (2)テーマ募集(6/2)、6テーマエントリー結果を確認(10/2)、1/18発表会開催 (3)高電圧法令対応の会員展開(7/21)、高圧ガス、R10、R100の法規整理と対応の会員展開(10/7)。今後の進め方をCJPTと打ち合わせ予定 ・架装工事ガイドラインについて解説(CS/SU&コネクテッド検討WG座長松本様)
	6. 点検整備推進分科会 <ねらい>使用上のトラブルを未然に防止するための適切な保守点検の啓発と、架装物の安全点検制度の普及を図る。	委員	(1)架装物の安全点検制度の普及 ・会員への働きかけと支援(各部会) (2)架装物の点検実施率の向上(啓発チラシ作成) (3)特装車、トレーラーの点検整備の啓発 ①メンテナンスニュースによる啓発(特装) ②トラック協会との連携(トレーラー)												○	(1)・制度登録会員は昨年度末と変わらずの21社 ・2022年度架装物点検済ステッカー貼付実績10,900枚、前年度比6%減 (2)点検の重要性とSDGsを紐づけた点検啓発用チラシ・ポスターを会員配布とホームページ掲載(9月) (3)①次年度のテーマを危険物ローリー(No58)、油圧ホース(No59)とすることを確認。 ②17か所の道府県トラック協会から開催要請有、すべて終了。
	7. 突入防止装置技術委員会 <ねらい>JABIAリベット制度の適正運用のための指導及び改正提案への対応を行う。		(1)R58-03対応 ①新JABIAリベット制度運用調査 ②その他会員支援	委員	調査会社選定			運用調査		まとめ			報告	☆	○	(1)次年度も新JABIAリベット制度運用調査を実施することを確認。
	8. テールゲートリフタ技術分科会 <ねらい>テールゲートリフタ車特有の法規対応を検討していく。	委員	(1)後方視界確保規則化に対する検討 (2)点検整備推進分科会への参画 (3)TGL労働災害撲滅に向けた取り組み					分科会情報収集と対応検討	○				○	○	○	(1)カメラが突出量等、車両寸法の計測の仕方について分科会内で共有 (2)点検整備推進分科会にて意見交換を実施(6/29, 9/19, 1/23) (3)TGLの人員乗車に関するロードマップについて共有

3-2. 委員會活動報告

2023年度事業計画（環境委員会）

委員長：吉村理事 事務局：小森、森田、遠藤

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) ー:評価対象外

3-2. 委員会活動報告

2023年度事業計画(中央業務委員会) 委員長:矢野理事 事務局:岩瀬、★小森、■内藤

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
中央業務委員会	1. 中小企業経営支援、等 1) 中小企業経営支援 <ねらい> CN・SDGsへの適正な対応と今後想定される景気後退に伴う経営不振(例、リーマンショック後)に備えた、中小会員支援策の論議を充実させる。	(1) 中小会員経営における効果的な支援策 ①各部会における中小支援活動の共有・論議 ②CN推進上の困り事集約と対応 ③自動車業界5団体連携活動の推進 ④中小会員合同マネジメント研修の継続開催 (2) 関連団体と連携した税制・法制への要望活動 ①税制改正への要望まとめ ②規制改革要望項目のまとめ ③その他要望(「技能実習」「特定技能」等) (3) 生産性向上のための設備投資アイテム 選定支援 (IT化、ロボット化、自動機等)	近藤副委員長／事務局	○6				○6		○5			○7					第1回7/6、第2回10/6、第3回12/5、第4回3/7
																	①各部会の中小支援活動の共有・論議 ・困り事: シャシ納入遅れ、採用困難、人材育成、原材料高騰、CN対応、等 ・支援策: 工場見学、各研修への参加、CN好事例の展開、教育ツール作成&発行、等 ②2023年度CNアンケート: 集約結果 3/31時点 回答221社(69%)/318社 集約結果を基に2024年度活動計画を立案する CN活動の車工会HP掲載(勉強会、他社事例、費用関連)の認知度が低く要改善 ③現時点情報なし ④管理監督者層マネジメント研修11/2実施、10社14名参加 ①トレーラ環境性能割除外要望は2024年度税制改正大綱には織り込まれず ②規制改革要望1件: 改造申請関連資料のペーパーレス化は 特種部会技術委員会と自動車技術総合機構との技術検討会1/17にて要望済 新規届出: 2025/4~、改造届出: 2026/4~ の計画で進捗中 ③外国人技能実習制度の法改正: 自工会・部工会と共同で経産省へ要望中 — 車工会会員の利用実態を調査中 3/31時点 回答85社(40%)/212社、制度利用: 33社、実習生: 471名 会員各社の設備導入事例4社7件、3/6 HP公開済(会員ネットワーク掲示板) (矢野特殊3、東海特装2、極東開発1、日本フルハーフ1)	
委員会	2) コンプライアンス優先経営 徹底活動 <ねらい> 会員会社でのコンプライアンス意識醸成やリスクマネジメント体制整備を図る。中小企業会員の意識も醸成されつつある中で更なる意識向上、体制整備の支援を進める。	(1) コンプライアンス優先経営の徹底 ① 中小企業コンプライアンス経営の意識醸成 ・規定制定支援 ・未実施会員の状況ヒアリング実施 ② 下請取引ガイドラインの徹底 ・適正化特別推進月間対応 ③ 不正な二次架装根絶業界内定着活動 ・「不正改造車を排除する運動」対応 ④ リスクマネジメントへの対応支援	企業行動憲章未制定会員フォロー 未実施会員ヒアリング訪問 下請法無料セミナー等の実施情報提供(随時) 実施内容の展開と支部へ機材配布 地域毎に強化月間参画 BCP策定支援/地域連携活動の事例収集	○													① 2021年度作成、発行した「経営トップのための行動憲章作成ポイント」を基に未制定会社に対するフォローを実施中 ② 11月の推進月間に向けた各種情報展開を10月に実施済(10/27) ③ 5月に実施内容、ポスター・チラシ等の機材配布。6月強化月間活動。強化月間での活動結果集約完了、日整連に報告済(8/31) ④ BCP作成要領の会員展開、車工会BCP内容の論議 発電機所有状況調査実施結果: 3/31時点 回答55社(26%)/212社 発電機あり貸出可: 19社(50台)、あり貸出不可: 8社、なし: 27社 今後車工会HPへの掲載準備を進める	
ネットワーク	2. 経営/生産/販売に関する各部会に共通する課題への対応 <ねらい> 変化の激しい経営環境の中、経営/生産/販売に係わる各種課題にタイムリーに対応し、会員支援を充実させる。	(1) 中小企業庁等官公庁情報のわかりやすい展開 ・官公庁情報のタイムリーな展開と要約版の定期的な発信: HP/車体ニュース等 (2) 本部と支部の連携活動■ ・支部、部会活動を通した非会員情報の共有と会員化の推進 (3) 各部会課題共有化(各部会報告)と 共通課題への対応 (4) 原材料費の情報提供 ・3か月毎及び大幅変動時	各部会/事務局	HPでの情報提供(随時)												・HPでの情報発信: 官公庁情報41件(3/31時点) 内中小企業支援3件 車体ニュースによる情報発信		
				○												・部会と支部活動を通した非会員情報の洗出し、共有化と会員化の推進 ・非会員リストの最新化		
				まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	○		各部会活動状況の共有と論議 ・課題: CN推進、シャシ納入、原材料高騰、架装物安全点検制度普及促進、等		
				フォロー	○	フォロー	○	フォロー	○	フォロー	○	フォロー	○			全ての材料価格が高騰しているが、やや高止まり感あり		
安全衛生	中小企業会員のネットワーク強化と 相互研鑽の仕組みづくり★ <ねらい> 中小会員のビジネス形態を学び、課題などを共有、共に議論して将来のための気づきと可能性を探る。	(1) 業務軸ネットワーク 将来ビジョン達成のための計画と実行 (2) モチベーションネットワーク 訪問ヒアリングを継続開催 (3) マッチング掲示板の有効活用方法の継続検討	事務局	営業マン勉強会の開催												(1) 営業マン勉強会: 10/24 中間報告会@札幌ボデー工業㈱、12/8 最終発表会 2024年問題をテーマに3チームで活動 (2) 第2回訪問ヒアリング: 11/8 中京車体工業㈱、名古屋ボデー㈱、 11/9 トヨタ車体㈱で開催 (3) マッチング掲示板: 設備治工具類の導入事例(7件)を掲載済(3/6)		
				○	#1訪問ヒアリング			○	#2訪問ヒアリング									
				WGで有効活用方法論議														
技能研修	安全衛生活動 <ねらい> 安全衛生活動に寄与する情報発信と活動支援	(1) 会員からの事例の収集と収集内容の質向上 (2) 会員各社への横展開事例の提供 (3) 会員代表者の更なる安全意識醸成づくり (4) 会員各社の現地現物確認の実施	事務局	質向上	事例収集・質向上											(1) 2022年度収集した災害事例7件の最終確認実施(6/5) (2) 2022年度収集した災害事例の会員展開(郵送&HP掲載)実施(6/15) (3) (4) 日本フルハーフ工場見学実施(9/8台風で延期→11/29) 労働災害事例6社の共有済、HP掲載済(3/15)		
				☆会員へ労働災害事例提供 安全意識高める事例検討と提供	○現地現物確認													
	現地現物による技能系社員研修 <ねらい> 中小会員の現場リーダー層研修を通し、自社の現場力アップを支援	(1) 技能研修の計画立案 (2) 技能研修実施(3回/年) (3) 研修内容質向上で講師会社が会員現場を知る (4) 次年度研修に向けた評価と計画立案	事務局	計画立案												(2) 第1回目 トヨタ車体 10/12~13: 9社12名参加 第2回目 トヨタ自動車東日本 11/09~10: 2社 3名参加 第3回目 日産車体 11/13~14: 2社 3名参加 (3) 会員現場を知るためケイエムオーネットワークの工場見学実施(6/30 3社6名参加)		
				☆現場を知る														

3-2. 委員会活動報告

2023年度事業計画 広報委員会

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題							
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
広報委員会	<p>1. 会員への情報発信の一層の拡充 <ねらい> 会員に必要な情報のタイムリーな発信を継続、拡充するため、リニューアル後のホームページの活用状況を分析し、必要な改善を続ける。</p> <p>2. 当会活動の対外的PRと認知度の向上 <ねらい> 当会の通常活動に加えて、社会的意義のある活動をPRすることで、プレゼンスの向上を図る。</p> <p>3. 機関誌「車体NEWS」の充実 <ねらい> 紙媒体の特性を活かし、掘り下げ記事を充実、HPでの速報性との相乗効果により効果的な情報発信とする。</p>	<p>広報委員会開催予定：4回／年</p> <p>(1)ホームページの認知度向上・活用増 ①カーボンニュートラル専用ページの充実 ②活用状況の分析と改善</p> <p>(2)当会活動／官公庁情報の発信の充実 • CN関連情報及び自動車業界5団体による支援活動情報の積極的配信</p> <p>(1)社会的意義がある当会活動の情報発信拡充 (2)プレスリースの計画的な発行と内容の充実 5月・通常総会会長挨拶 • 23年度車体業界の見通し • 23年度役員体制 • 22年度生産実績 10月・秋季会員大会会長挨拶 • 上期生産台数 1月・会長の新年挨拶 3月・トレーラ需要予測 他</p> <p>(1)紙媒体の特性を活かした記事内容の拡充 「いどばた会議」の定着と誰もが参加できる楽しい企画への発展を検討 (2)記事内容の拡充と執筆スキルの向上 働くクルマ、広告担当会社選定方法の検討 次号の記事内容・担当会社の確認・論議</p> <p>(1)JMS2023合同展示 効果の高い展示企画立案と推進 (2)自工会、他関係団体との調整</p>				<p>第1回5/29、第2回9/1、第3回11/28、第4回3/1</p> <p>HP閲覧停止 (7/28~9/10) の状況共有、9/11より再開、保守管理強化を検討 (1)①・CN専用ページリリース後の状況と今後の対応論議 -官公庁情報：委員からの追加情報を確認、追加 -委員会メンバー会社取組事例のわかりやすいHP展開：3件取組み (日本トレクス、河野ボデー製作所：完、日産車体案件まとめ中) -CNページ閲覧頻度向上施策の検討 例)トップページからスクロールせずに、CNページにアクセスできるデザイン、HP改訂時のメールでのご案内等 ②HP全体閲覧状況結果共有・論議 (2)当会からのお知らせ51件、官公庁情報41件 自動車5団体活動情報は特になし</p> <p>(1)2023年度のトラック協会講演は、17都府県で予定通り完了 (詳細はトレーラ部会報告による) (2)3月発行のトレーラ需要予測を除き全て予定通り発行済 日刊自動車新聞5/29、6/9に通常総会関連記事掲載 交通毎日新聞11/6に秋季会員大会記事掲載 日刊自動車新聞1/5、交通毎日新聞1/12年頭の辞掲載、新聞名刺広告は、新春名刺広告等計画通り実施済。</p> <p>(1)第14~17回のいどばた会議は「私のSDGs」を継続掲載。毎号安定した投稿があり、様々な工夫の情報を収集する場に進歩 (2)記事担当・日程・構成の確認・論議 働くクルマ、表紙、広告、コーヒーブレイク、我が社の元気人 2025年度記事担当部会の論議・決定</p> <p>(1)・商用車ショー企画委員会・出展社合同会議実施 (6/8, 7/31, 9/25, 12/11) 車両展示レイアウト、ベース装飾、WEBサイト、QRコード、ミニ四駆ボディー形状等確認し合意 ミニ四駆レースイベント運営要領について意見交換し方向性確認 -スポーツサーキット申込結果：大型バーチャル展示5社、VTR放映7社 -JMS実施：10/26~11/5、WEBアクセス数：43,936件、QRコード配布数：16,930枚 ミニ四駆参加：135人(抽選券配布：530人) 次回課題：イベントと会員との紐付け強化、他 (2)自工会とは都度調整を実施し、会期中含めて運営面で連携済み 部工会とのコラボ企画「スタートアップ探検ツアー」では出展100社の見学など実施</p>																		

3-3.事務局業務報告

1) 会員会社に対する各種有用施策の調査、情報提供

(1)2023年度法規関係情報一覧

<国土交通省>

発行番号	受付日	項目
国自基第245号の3 国自審第2680号の3	3月24日	【改正概要】 「走行環境条件の付与の実施要領について（依命通達）」の一部改正について（依命通達） ・自動運行装置付き自動車の走行環境条件付与書等の様式（運転者を要するものであるか明確化等）の変更等を行う ・その他所要の改正
国自基第248号の3	3月30日	【改正概要】 「道路運送車両法施行規則第36条第5項、第6項及び第7項の書面について（依命通達）」の一部改正について ・二輪車及び四輪車の電気自動車等に対して通達において近接排気騒音の値の書面を求めないことを明確にする ・その他所要の改正
国自基第251号の3	3月30日	【改正概要】 「非認証車等に対する加速走行騒音試験の取扱いについて」等の一部改正について ・R51-03試験を並行輸入車については細目告示別添40に規定する試験路（従来路面）を引き続き利用可能とする ・その他所要の改正
国自基第236号	3月31日	【改正概要】 「特定改造自動車のエネルギー消費効率相当値の算定実施細目について（依命通達）」の一部改正について（依命通達） 「自動車の燃費性能に係る公表要領について」の一部改正について 「低排出ガス車認定結果公表要領について」の一部改正について 「低排出ガス車認定実施要領の細部取扱いについて」の一部改正について 「特定改造自動車の諸元の自動車登録ファイル等への記録方法について」の一部改正について ・国土交通大臣が評価・公表する燃費性能に、小型貨物自動車及び重量車の令和4年度燃費基準及び2025（令和7）年度燃費基準の達成度を追加するほか、所要の改正を行った ・車両総重量3.5トン以下であって、乗車定員10人以下の普通自動車、小型自動車及び軽自動車（ガソリンを燃料とする直接噴射式の原動機を有するものに限る。）等について、排出ガス低減性能の認定を行際の基準に、粒子数の基準への適合性の追加 ・その他所要の改正
国自技環第205号の3	3月31日	【改正概要】 「基準緩和自動車の認定要領について（依命通達）」の一部改正について 「自動車検査業務等実施要領について（依命通達）」の一部改正について 「構造改革特別区域における「特殊な大型輸送用車両による港湾物流効率化事業」の取扱いについて」の廃止について ・特区内に限って設けていた特例制度を全国の港湾施設へ展開するため、車両の重量等に係る基準を保安基準第55条第1項に基づき地方運輸局長が緩和することができるようする改正を行うほか、所要の改正を行つた
	6月5日	【改正概要】 道路運送車両の保安基準等の一部を改正する省令及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部を改正する告示について ・10人未満の乗用車、GVW3.5t以下の貨物車に直前直左右確認装置（R166）基準を適用する ・10以上の乗用車、GVW3.5t以上の貨物車に大型車の直接視界（R167）基準を適用する ・上記、基準の適用に伴い装置型式指定規則等の一部改正
国自審第265号の3	6月5日	【改正概要】 「装置型式指定実施要領について（依命通達）」等の一部改正について ・直前直左右確認装置（R166）基準、大型車の直接視界（R167）基準を直接引用する。直接引用している協定規則番号の改正を行う ・「型式認証実施要領」、「輸入自動車特別取扱制度」等の一部改正の他、その他所要の改正
国自審第391号の3	6月30日	【改正概要】 「自動車の特定改造等の許可実施要領について（依命通達）」等の一部改正について（依命通達） ・他国において、両協定規則に基づく型式の認可証等を取得している場合には、能力基準適合証明書の提出が不要となるよう所要の改正、また、活用しやすくなるようにするための所要の改正を併せて行う
	9月22日	【改正概要】 道路運送車両の保安基準及び装置型式指定規則の一部を改正する省令及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部を改正する告示について ・後面衝突警告表示灯（二輪自動車）を備えた場合の要件規定 ・タイヤについて新たに導入されたウェットグリップの規制値等への規制強化 ・後方視界看視装置（バックカメラシステム）について、装置単位での認証が可能 ・その他所要の改正
国自審第1019号の3	9月25日	【改正概要】 「装置型式指定実施要領について（依命通達）」等の一部改正について ・上記改正に伴う実施要領の改正。
国自総第193号の2	9月27日	【改正概要】 国土交通省組織令の一部を改正する政令の施行に伴う自動車局関係通達の一部改正について ・車工会あて通達等について、「自動車局」を「物流・自動車局」に読み替える(2023.10.1より)

国自審第1090号	9月29日	<p>【改正概要】 「自動車製作者等証明書の発行について」の一部改正について ・国土交通省組織令の一部を改正する政令の施行等に伴う改正</p>
国自情第177号の2 国自審第1089号の2	9月29日	<p>【改正概要】 「自動車製作者等が行う走行試験に対する臨時運行許可等について」の一部改正について ・「製造過程自動車の型式認定に関する規程」の廃止に伴う改正 禁止行為、臨時運行許可証及び臨時運行許可番号標の返納の新設等</p>
	10月20日	<p>【改正概要】 自動車点検基準等の一部を改正する省令及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部を改正する告示について ・定期点検整備における点検項目として、ガス容器等に係る損傷の確認を追加する他、所要の改正を行う ・その他所要の改正</p>
国自基第128号の3	11月7日	<p>【改正概要】 道路運送車両の保安基準の細目告示を定める告示第119条第2項等及び「自動車検査業務等実施要領（依命通達）」に係る細部取扱いについての一部改正について 次の①から④に掲げる要件の全てに該当する検査申請車両については、発行された試験結果証明書を当該検査申請車両のものとみなすことができるものとする ① 試験自動車と同一の製作者等が指定を受けた型式指定自動車であるもの ② 構造・装置等（車名及び型式を除く。）が試験自動車と同一であるもの ③ 車名及び型式が試験自動車のものと異なるもの ④ 試験自動車と同日にその型式について指定を受けたもの又は試験自動車の型式と重要でない部分のみが異なる型式として指定を受けたもの</p>
20231102製局第5号 国自技環第140号 国自基第131号	12月6日	<p>【改正概要】 自動車の燃費性能に係る表示の実施について（依頼） 自動車の燃費性能に対する一般消費者の関心と理解を深め、もって一般消費者の選択を通じ燃費性能の高い自動車の普及を促進することを目的とし、自動車の燃費性能に係る表示について実施することとした 【例】   別記様式 7 別記様式 10</p>
国自審第1797号の3	12月21日	<p>【改正概要】 「装置型式指定実施要領について（依命通達）」等の一部改正について（依命通達） ・ガス容器等が装置型式指定の対象となることに伴い、当該装置に係る装置型式指定基準を追加する他、ガス容器等を製作及び試験するにあたり、保安上必要とされる設備要件等を規定する ・その他所要の改正</p>
国自基第171号の2	1月5日	<p>【改正概要】 「道路運送車両の保安基準第二章及び第三章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示の規定に基づく国土交通大臣が定める自動車等について（依命通達）」の一部改正について（依命通達） 装置型式指定規則の一部改正 ・型式指定の対象となる特定装置の種類に、協定規則第168号に基づく認定に対応するものとして「ディフィートス・トラテジー防止装置（路上走行時に排出ガス等の発散防止装置の機能が低下することを防止する装置をいう。）」を追加する ・その他所要の改正</p>
国自審第1824号の3	1月5日	<p>【改正概要】 「装置型式指定実施要領について（依命通達）」等の一部改正について（依命通達） ・「ディフィートストラテジー防止装置」及び「自動車駆動用電力消費装置」等の追加に係る装置型式指定基準を追加する ・その他所要の改正</p>

＜自動車技術総合機構＞

	3月31日	<p>【改正概要】 審査事務規程の一部改正について（第49次改正） 道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正 ・乗車定員10人以上の乗用自動車及び貨物自動車に備えられた電動駐車制動装置に自動作動要件を追加 ・乗車定員10人以上の乗用自動車及び車両総重量3.5tを超える貨物自動車に備える衝突被害軽減制動制御装置について、強化された対車両の制動要件に加え新たに対歩行者の制動要件等を規定 ・乗車定員10人未満の乗用自動車及び車両総重量3.5t以下の貨物自動車の歩行者の頭部保護性能に関する試験エリアに前面ガラスも含むことを規定する等 ・その他所要の改正</p>
	4月18日	<p>【改正概要】 「認証審査手数料計算事例」（平成28年8月1日）の一部改正について 特定改造等の能力審査について基本料金（1申請当たり）を追加の他、その他所要の改正</p>
	6月5日	<p>【改正概要】 審査事務規程等の一部改正について（第50次改正） ・細目告示に新たに採択された協定規則等に対応したTRIAS※の新規追加（協定規則第166号、協定規則第167号、JH25モード） ・その他、細目告示に既に採用されている協定規則の改訂に伴う一部改正等 ※ Test Requirements and Instructions for Automobile Standards (TRIAS)</p>

	6月28日	【改正概要】 「審査関係連絡事項」の一部改正について ・「審査関係連絡事項」の一部を改正
	8月25日	【改正概要】 審査事務規程の一部改正について（第51次改正） ・UNR166（直前直左右確認装置）審査方法等を規定 ・OBD検査に係る取扱い等の新設
	9月22日	【改正概要】 審査事務規程の一部改正について（第52次改正） ・自動車の長さ、幅及び高さを測定する際にその対象から除外する項目として、前面及び後面の周辺監視装置を追加 ・自動車の外側に突出する周辺監視装置について、突出量の測定方法を規定
	9月28日	【改正概要】 審査事務規程の一部改正について（第53次改正） ・新たに採択された協定規則等に対応したTRIASの新規追加（4項目）他
	11月30日	【改正概要】 審査事務規程の一部改正について（第54次改正） 道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正 ・空気入りゴムタイヤに係る協定規則へ摩耗状態でのウェット路面上の摩擦力に係る基準追加、高圧ガス保安法体系下で行われる容器検査等と同等の安全性の担保が可能となる技術基準等が規定されたことに伴う審査方法等を規定する ・二輪自動車へ後面衝突警告表示灯を備えることができることに伴う改正を行う ・細目告示別添129「後方視界看視装置の技術基準」及び細目告示別添130「後方視界看視装置取付装置等の技術基準」が規定されたことに伴い、当該装置の審査方法等を規定する ・その他所要の改正
	2月1日	【改正概要】 審査事務規程の一部改正について（第55次改正） 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う「審査事務規程」の一部改正 ・試験規程（TRIAS）の新規追加11項目（(1)圧縮水素、圧縮天然ガス、液化天然ガスを燃料とする自動車関係）、一部改正2項目、付表等について修正および項目の追加等13項目等

＜軽自動車検査協会＞

2023軽検情第7号	4月4日	【改正概要】 「特定改造自動車の諸元等の軽自動車検査ファイルへの記録方法の変更について」の一部改正について 国土交通省による自動車の燃費性能の評価及び公表に関する実施要領等の一部改正作業に伴い、当協会通達である「特定改造自動車の諸元等の軽自動車検査ファイルへの記録方法について」においても同様に改正する
	6月15日	【改正概要】 軽自動車検査協会検査事務規程（昭和48年9月26日協会規程第16号）の一部改正について ・検査標章の貼付位置をフロントガラス運転席側上部の運転者から見やすい位置に表示するための改正
2023軽検情第8号	9月28日	【改正概要】 軽自動車検査協会検査事務規程（昭和48年9月26日協会規程第16号）の一部改正について ・OBD検査の導入に伴う改正等
協会規程第14号	12月14日	【改正概要】 軽自動車検査協会検査事務規程（昭和48年9月26日協会規程第16号）の一部改正について ・自動車検査証電子化の導入に伴う改正等を行う ・審査事務規程第54次改正を踏まえ所要の改正を行う ・その他所要の改正

3-3.事務局業務報告

1) 会員会社に対する各種有用施策の調査、情報提供

(2)2023年度各省庁からの展開項目一覧

＜経済産業省＞

発行日	項目
23/4/26	自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準告示）について
23/5/1	「新型コロナウイルス感染症対策本部の設置について」の廃止について
23/5/26	日本とタイ＆インドネシアの大手有力企業がスタートアップからの提案を募集
23/9/11	インボイス制度に関する周知等について
23/9/11	2023年度「ディープテック・スタートアップ支援基金／国際共同研究開発」に係る公募について
23/11/13	冬季の省エネルギーの取組みについて
23/12/4	価格転嫁促進のお願い（「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」）
23/12/13	2023年度（令和5年度）「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」受賞者の決定について
23/12/18	マイナポータル連携等を活用した確定申告・年末調整の推進について
23/2/26	インボイス制度に関する周知等について

＜厚生労働省＞

発行日	項目
23/5/25	防じんマスク、防毒マスク及び電動ファン付き呼吸用保護具の選択、使用について
23/5/29	2022年職場における熱中症の発生状況（確定値）等について
23/8/18	2024年春の黄綬褒章（労働関係）候補者の推薦について
23/12/13	2023年度安全優良職長労働大臣顕彰受賞者の決定について
24/1/18	2024年春の黄綬褒章（労働関係）候補者の推薦について
24/2/27	S T O P ! 熱中症 クールワークキャンペーンに係る実施について

(3)卓越した技能者表彰 受章

尾崎善三氏(トヨタ車体(株))は自動車部品機械加工工で主に自動車部品のプレス金型製作における機械工に従事。優れた能力を発揮し、永きに渡り職場を牽引してきた。汎用加工機で培ったノウハウ、カンコツ※を自動化に取り入れ、海外子会社にも展開、指導力を発揮するなど大きな実績をあげている。更に精度向上、業務効率化を行いながら業務改善を行っており、機械加工分野の代表的な高技術者である。

高橋幸也氏(トヨタ車体(株))は自動車ボデー職種における復元技能に優れ、不具合の検出力と修正技能に卓越している。鉄板の亀裂、皺、割れ、歪等の高度な修正が出来る技能を有し、それらの技能を使いこなし、多くの工程・設備改善をあげた。近年は、より幅広い視野に立った工程/設備改善・デジタル化にも着手している

両者とも、優れた指導力を発揮して後進育成を行い、多数の国家技能検定合格者を育てるなど技能伝承の面でも活躍していることが認められ、11月13日に厚生労働大臣より2023年度の「卓越した技

能者(現代の名工)」として表彰された。心よりお慶び申し上げます。
※カンコツ…マニュアル化しにくい、熟練の技や経験で培われた方法のこと

(4)安全優良職長厚生労働大臣顕彰 受賞

高い安全意識を持って適切な安全指導を実践してきた優秀な職長を表彰する安全優良職長厚生労働大臣顕彰を当会関係者から下記の方が受賞された。

関澤 諭 氏 コーワテック(株) 湘南事業所

上光 亮 氏 極東開発工業(株) 名古屋工場

2)自主管理作業

(1)ミキサ・ドラムの自主審査

・ドラム諸元表記載(製作社名変更)申請(1件)

(2)塵芥車の荷箱中心位置の国交省届出

・2023年度版の冊子を作成し、国土交通省に届出(5月)、期中の追加届出1回実施
併せて全国の運輸局等に送付し、検査時の適正化、効率化向上に寄与

(3)脱着キャリア/コンテナの登録管理

・脱着キャリア/コンテナ互換性定期審査はなし

(4)難燃内装材の素材登録

・1993年12月から開始した内装材料のJABIA登録数は、新規追加登録111点(届出12社)で2024年3月末現在4,685点。検査の適正化、効率化向上に寄与

(5)車両運搬車トレーラとトラクタの組合せ審査

・2023年度の審査件数は0件

3)三工業会合同事業

三工業会合同事業(当会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会)

以下調査を実施

労働諸条件調査(速報版 12月発行、合体版 3月発行)

災害統計調査(各月毎)

4. 部会活動報告

2023年度事業計画(特装部会)

部会長:小田理事 事務局:小森・上坂

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

特 装 部 会	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評 価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特 装 部 会	1. 部会全体活動 <ねらい> 多種多様な特装車の横断的事業の展開。架装業界発展のための将来ビジョンの構築。	(1)部会総会及び部会長報告会 (2)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (3)工場見学会の実施 (4)架装物の安全点検制度の普及拡大 (5)本部委員会と連携し2030年度CN目標達成に向けた活動 (好事例・困りごとの収集と共有) ・商用車電動化協調領域での対応推進 ・生産協調領域での対応推進	部 会	☆ 総会 その都度実施 計画 部会総会、委員会、分科会等を通じ働きかけ 部会長報告会・技術/業務委員会での課題共有と対応検討	☆											○	(1)上半期部会長報告会実施 (10/12, 2/13) (2)特装部会12件/32件中 (リコール12件 3/31時点) (3)日産車体(株)へ2月5日に実施。 (4)制度登録会社11社 (昨年度末から変更なし) (5)委員会、分科会活動での本部活動HP掲載内容の共有 (勉強会実施内容、取組み事例、補助金・税制融合策等)
	2. 車両関係法規の対応 <ねらい> 車両法規の改正の素案段階で各分科会の意見や要望をとりまとめる。 メリットになるものを見直す。	(1)車両法規改正への意見反映と円滑な対応 ①協定規則採用前の意見反映 ②国内法規改正前の意見反映 ③法規改正後の会員指導 (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 ①バックカメラ義務化対応WGに参画 ②車両後退通報装置検討WGに参画 ③HDV-EDR(R169)法規導入		その都度実施 その都度実施 その都度実施 その都度実施 その都度実施 その都度実施 その都度実施 その都度実施 その都度実施										○	(1)①協定規則の最新情報を委員会及び分科会を通じ共有 ②保安基準等意見照会4月以降49件(3/31時点、12月以降14件) ③保安基準等改正4月以降 30 件 (3/31時点、12月以降11件) (2)①審査事務規程改正(第54次)を盛り込んだ解説書作成中、完成後、会員へ展開予定 ・脱着車(スワップボディ等)の荷台に付けたカメラにも切り替可能 ②車両後退通報装置の残存課題について整理 ・みなし運用は自動車技術総合機構主催のWG (12/1, 12/19, 1/24) ・音声アラームの必要性については国交省と調整(調査研究も検討) ③HDV-EDR(事故情報計測・記録装置) UN-R169法規導入について		
	3. 規格化・標準化・共通化等の推進 <ねらい> 共通使用している装置等の強度基準/安全装置を規格化、標準化し品質維持を図る。	(1)JABIA規格化等 ①JABIA P1701(塵芥車の製作基準)見直し(塵芥車) (2)標準化 ①ISO/TC297対応 ②ISO/TC195対応		分科会内審議 都度対応 都度対応											審議 ○	製本 ☆	△
	4. 調査研究の推進 <ねらい> 経費節減を図るために共同で調査研究して情報を共有化する。	(1)自主的調査研究の推進 ①塵芥車新型荷箱諸元国交省届出(塵芥) ②トラックミキサードラム/アジテータドラム変更届出 (2)CN・CASE等最新技術への対応 ①架装物動力源検討WG活動に参画 ②CS/SU&コネクテッド検討WGに参画 (3)消防学校(塵芥車を使用した)講習会への協力	技術委員会	製本 ○	追加届出 ○	追加届出 ○	追加届出 ○									○	(1)①第3四半期においては届出無し ②第3四半期においては届出無し (2)高電圧法令対応の会員展開(7/21)、高圧ガス、R10、R100の法規整理と対応の会員展開(10/7)。今後の進め方をCJPTと打ち合わせ予定。 (3)千葉県消防学校(10/12)、佐野消防(10/23, 24)、蕨市消防(2/5)からの依頼により実施
	5. 環境への取組み <ねらい> 継続生産品の環境フリー部品への切り替え。また、新環境基準適合ラベル取得を推進する。	(1)環境負荷物質フリー宣言の継続維持フォロー (2)新環境基準適合ラベルの取得フォロー		依頼・回収・部会フォロー 依頼・回収・部会フォロー											○	(1)フリー宣言2023年度調査結果 (2)CO2・排出量調査、回答率175/233(75.1%)継続フォロー中 VOC排出量、産廃最終処分量・集約完了し目標を達成していることを確認	
	6. 特装車の適正使用の推進 <ねらい> 特装車の適正使用の推進及び架装物の点検整備促進活動を実施する。	(1)特装車メンテナンスニュースの作成とPR活動 ①ニュースNo.56(作動油) ②ニュースNo.57(TGL特別安全教育義務化) (2)架装物の安全点検整備制度の普及調査 (3)異業種等工場見学		情報入手 ○	原案作成・校正 ○	☆	情報入手 ○	原案作成・校正 ○	☆						○	(1)①メンテナンスニュースN056油圧作動油編を発行(9/15) ②メンテナンスニュースN057を発行(12月) (2)2023年点検済ステッカー実績 9712枚で前年比110% (3)見学会を兼松エンジニアリング㈱で2/8-9で実施	
	7. 生産台数情報の共有 <ねらい> 市場状況の分析、把握	(1)市場状況の分析把握及び各社生産台数情報の共有化(年4回開催)	業務委員	23 ○		○	○								○	(1)特装車の生産台数及び市場環境状況の共有化実施(6/21, 9/14, 11/24)	
	8. 会員力バー率向上活動 <ねらい> 部会の活性化	(1)地域会員/非会員リストのメンテナンス (2)定期的な勧誘活動の推進		○	○		○	○						○	○	(1)特装部会入会(タニ工業㈱, ジーエムいちはら工業㈱)	
	9. その他 <ねらい> 中央業務委員会との連携	(1)コンプライアンス優先経営の徹底 (2)中小企業会員支援		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(2)昨年実施の中小企業支援困りごとを議論、中央業務委員会に報告(6/21, 9/14, 11/24)	

4. 部会活動報告

2023年度事業計画(特種部会) 部会長:森理事 事務局:小森

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

		実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特種部会	1. 部会全体活動 (ねらい) 部会内の横断的事業の展開で部会活動をより充実	(1) 合同委員会の定例開催 (4回/年) (必要に応じて臨時委員会を追加開催) (2) 関連法令改正等に伴う適切な対応への支援 (3) リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4) 工場見学会(2回/年), うち1回は実務者を主な対象とした研修を兼ねる。		部会総会 ○	部会総会 ○	#1 ○			#2 ○	都度対応	#3 ○			#4 ○		○	(1) 第1回6/30、第2回9/22、第3回11/30、第4回2/16 (2) 累計79件の法規情報を会員展開 内訳: 意見照会43件、法規改正22件、その他14件 (3) 32件のリコール等重大不具合情報を展開 (4) 第1回工場見学会(若手主体): 6/29、30 個タダノ、フジタ自動車工業㈱15社21名 第2回工場見学会: 11/16、17 個イズミ車体製作所、個キヨーワ15社23名参加
	2. 自動車技術総合機構との情報交換 (ねらい) 法規解釈や車検時の課題解決のための技術レベルを向上	・技術検討会の継続開催: 第17回目の開催 (2005年度から開始)							事前確認会 #3合同委員会 と併催 ○	結果展開 開催 ○	○	○	○	○	○	・技術検討会開催 (24/1/17) 機構2名、特種部会13社、22名、事務局2名参加 6件の質問内容について質疑応答を実施 →継続要望していた事前審査制度の一本化は、3月の改正に織込まれることを確認	
	3. 車両関係法規の対応 (ねらい) 車両法規の改正の素案段階で要望の取りまとめを実施	(1) 新法規、法規変更に伴う対応必要項目発生毎に対応 (各種WG活動報告) (2) 特種要件見直し要望項目検討 要望発生都度対応		WG報告 ○	WG報告 ○	WG報告 都度対応 ○	WG報告 ○	WG報告 ○	○	○	○	○	○	○	○	(1) バックカメラ、後退時警報、CS/SU&コネクテッド、突入防止、HD-EDR 架装物動力源、テールゲートリフターの進捗状況の共有 (2) 特種要件見直し要望項目は新規情報なし 特種要件課題リスト共有 (今年度変更なし)	
	4. 調査研究・基準化の推進 (ねらい) 法規対応装置や自主的調査研究の経費節減を図るために共同で調査研究・基準化を実施	(1) UN-R34/R46対応ワーキングによる課題解決 (2) 技術発表会テーマ検討 (3) 中期的な調査研究テーマ及びJABIA規格化項目の検討と現有JABIA規格の棚卸し		UN-R34/R46対応ワーキング ○	中央技術提出 ○	展開 ○	論議(#3合同委員会) ○	修正 ○	○	○	○	○	○	○	○	(1) UN-R34: JABIA規格の発行(3/26) R46: ガイドライン4/3発行完了 (2) 技術発表会テーマ論議: 特種部会からのテーマは無し (3) JABIA規格2024年度項目5件は継続 「座席組み込みベルトのJABIA規格」へのベルト取付角度追記を24年エントリー 中長期テーマは現時点なし	
	5. 環境への取組み (ねらい) 環境にやさしい車体の普及のため、新環境基準適合ラベルの取得を進捗	(1) CN対応: CO2排出量調査回答フォローアップ/各社事例の共有と会員展開の検討 (2) 環境/新環境ラベル取得の推進: 環境委員会と連携した部会内展開・フォロー/サポート (3) 環境負荷物質フリー宣言フォローアップ フリー宣言の継続確認・支援		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1) ①各社取組みの共有 ②エネルギー使用量回答状況: 55社中36社回答あり(65%)、残り19社継続フォロー (2) (3) 環境委員会展開の各種アンケート集約状況 VOC排出量: 対象7社完了 重金属5物質フリー宣言: 対象41社全て回答完了し、フリー宣言を確認 産廃最終処分量: 従来対象18社完了	
	6. 会員力バー率向上活動 (ねらい) 部会活性化のために活動	・加入促進活動の実施 非会員リストの定期的な上げと入会促進活動		非会員情報を合同委員会毎 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	非会員リストの共有と論議
	7. 部会内協力体制の維持/強化 (ねらい) 部会全体で中堅~若手従業員の人材育成を充実させるとともに、部会の9割以上を占める中小会員の経営支援を中央業務委員会と連携し充実	(1) 部会合同研修の実施 ・実務者による工場見学会(6月) ・管理監督者層合同研修への参画(10月) (2) 中小企業経営支援の充実 ・中央業務委員会と連携した支援策の検討 ・部会内情報共有のしくみ検討 (3) コンプライアンス経営への意識醸成 ・中央業務コンプライアンス優先経営との連携 (4) 他部会状況の共有化(合同委員会毎) ・中央業務委員会各部会報告内容論議等		見学会 (実務者研修兼) ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1) 工場見学会は、1. (4) と同じ 管理監督者層合同マネジメント研修 11/2 (木) 6社9名参加。 (2) 中央業務委員会提出資料の共有・論議 (3) 企業行動憲章策定サポートを事務局で継続中 (4) 中央業務委員会提出資料の共有・論議	
	8. 生産台数情報の共有 (ねらい) 市場状況の分析、把握	・各社台数情報に基づいた、市場状況の共有化(合同委員会毎)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2023年4月～2024年1月の生産台数情報の共有
	9. 車体NEWS記事	・担当会社決定、投稿内容の確認、フォロー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	車体ニュースの記事担当確認と働くクルマの記事内容論議

4. 部会活動報告

2023年度事業計画（トラック部会） 部会長:山田理事 事務局:小森、鶴見

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

ト ラ ック 部 会	項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評 価	実績 及び 課題
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ト ラ ック 部 会	1. 部会全体活動 (ねらい)部会内の横断的事業の展開	(1)定期的な部会会議開催と会員相互の情報交換 (2)官公庁からの経営支援策や関係法令改正等の情報展開と適切な対応 (3)リコール等重大不具合の再発防止活動 (4)研修会(工場見学会等)の実施 (会員の希望を調査し参加率向上を図り並びに他部会と合同見学会を実施し相互交流を図る) (5)生産台数を部会会員に毎月展開 (6)カーボンニュートラルの対応と対策 CN取り組み事例の展開	共 通 事 項	○ 13 総会		○ 11		○ 11		○ 12		○ 12				○	(1)部会総会(4/13) 第1回(7/11) 第2回(10/11) 第3回(12/12) 第4回(3/12) (2)官公庁情報の会員展開79件。意見照会43件、法規改正等22件、その他14件 (3)32件の情報を会員展開 (4)11/14 (火) (株)トランテックス (石川県) 工場見学 (5)2023年度2月結果を共有 (6)CN低減活動取組み事例集約状況の共有 5社5件
	2. 基準化・標準化 (ねらい)標準・統一による品質向上 (ねらい)共同で調査、品質・入手性向上	(1)あおり開き止めの形状統一 ・22年度からの継続テーマ ・サンプル品を購入し統一化の検討 (2)メンテナンスニュースの発行 ・点検制度登録された重機運搬車に焦点を絞る ・点検整備の急りによる不具合の事例を写真を掲載してリーフレットで点検制度の重要性を促す (3)普通トラックに関する用語JABIA規格見直し 現状況と照会、精査をして24年度末に冊子発行 (4)工場見学について		○ 19 サンプル品購入	○ 21	○ 22		○	○	○		○		○		○	(1)あおり開き止め形状の統一 部品メーカーでも廃番だたりする。標準仕様を決めて入手性をよくする。 ・3/12トラック部会にて報告 (2)平ボーダーメンテナンスニュースの発行 ・3月25日にPDFデータで会員へ展開 (3)普通トラックに関する用語JABIA規格見直し ・技術委員会内で内容を確認し文言の訂正とイラストの追加(2024年度継続項目) (4)須河車体(株)にて工場見学会開催 11/17
	3. 法規・安全対策関係	(1)必要な項目が発生毎に対応(中央技術委員会)													○	3/6第中央技術委員会情報を共有 UN-R158、R-165、R155情報進捗状況	
	4. 環境への取組み (ねらい)環境にやさしい車体のために新環境基準適合ラベルを普及させる (ねらい)環境負荷物質を一層推進させる早期に全架装物への対応を完了させる	(1)C/N対応、CO2排出量調査のフォローアップ (2)環境基準適合ラベルの全会員取得の推進 ①ホワイトラベルの取得の促進(会員支援) ②新会員へのゴールドラベル取得推進 (3)環境負荷物質フリー宣言の維持・向上 ①会員各社へのフリー宣言フォローアップ ②2022年度新入会員へ展開とフォロー ③VOC排出量の目標達成活動		○ 19 ①取得依頼 ②取得依頼 ①会員への依頼 ②対象会員への依頼	○ 21 ①取得依頼 ②取得依頼 ①会員への依頼 ②対象会員への依頼	○ 22 対象会員の調査 事例収集 用語の見直しと現状の確認 委員会のための見学先検討		○ 22 サンプル品による検討 原案作成 用語の見直しと現状の確認		○ 22 部会報告 修正・印刷 部会報告・修正・印刷 ☆委員会報告 ☆委員会報告 ☆委員会報告		○ 22 部会へのフォロー ☆委員会報告 ☆委員会報告 ☆委員会報告		○	○	(1)収集状況 CO2排出量調査 56社回答76% CNアンケート44社回答57% (2)環境委員会と連携した環境基準適合ラベル取得の推進(第2回部会以降進捗共有) ・取得済会員へのランクアップ展開 9/7 対象22社(ホワイトラベル取得済会員) (3)環境委員会と連携した以下のフォロー ・重金属4物質フリー宣言 収集完了 ・VOC2022年度(2021年度実績)排出量 対象4社収集完了 ・産業廃棄物最終処分量2022年度(2021年度実績)調査及び低減事例の提示 収集完了	
	5. 架装物の点検制度 運用・普及化 (ねらい)使用上のトラブルを未然に防止するための適切な保守点検の啓発と架装物の安全点検制度の普及を図る	(1)未登録部会会員への働きかけ (2)会員への周知と運用状況把握 (3)部会の現状を分科会に報告 (4)制度運用についての説明		○ 19 アンケート 登録会員からの報告 現状報告(部会・分科会)	○ 21 内容検討 内容確認・取りまとめ 内容確認・取りまとめ	○ 22 制度登録の働きかけ 周知と運用状況の把握 制度運用普及の説明(部会)		○ 22 部会にて報告 ☆		○		○		○	○	3/6中央技術委員会情報の共有 (1)・制度登録会員は昨年度末と変わらずの21社 (2)・点検の重要性とSDGsを紐づけた点検啓発用チラシ・ポスターを会員配布とホーランド・ジ掲載(9月) ・他社製品へのステッカー貼付要望をバン部会より分科会に提案、アンケート結果を元に論議中	
	6. 会員支援	(1)会員会社にとって有益となる内容検討と実施 ①車体メーカー社員が知つておくべき法規集 ・LV1(製造向け)LV2(営業、設計向け) ・シャシの遅れ、部品材料高騰の情報共有		○ 9 アンケート 登録会員からの報告 現状報告(部会・分科会)	○ 1 31 内容検討 内容確認・取りまとめ 内容確認・取りまとめ	○ 31 部会にて報告 ☆		○		○		○		○	○	①車体メーカー社員が知つておくべき法規集。LV1(製造向け)LV2(営業、設計向け)3月25日にPDFデータ展開 ②以下困り事の共有と議論 ・パックアイカメラ法規制の対応・シャシの供給の不安定感 ・求人関係・安全教育 ③登録台数調査の実施について ・3/1の業務委員会で調査区分について議論を行った。(3/12トラック部会にて調査区分について再審議) ④工場見学の開催 ・9月1日 (株)大上自動車工業(株)共立工業(株)を見学 ・3月1日 司工業(株)エフテック(株)を見学	
ト ラ ック 部 会	7. 会員加入の促進 (ねらい)部会の活性化	(1)非会員会社の新たな掘り起しの推進 (昨年度からの継続テーマ)	業 務 委 員 会												○	(1)非会員リストの共有 ・共栄重車両、アイランド、長野車体をリストから削除	
	8. 車両運搬車関係の情報交換 (ねらい)有用な情報交換	(1)関係団体(日本陸送協会)との交流 ・車両運搬車の生産状況と安全対策報告 作業者安全対策の実例を紹介 (2)車両運搬車の法規と安全対策		○ 18 第1回分科会	○ 18 第2回分科会	○ 18 日本陸送協同研修会		○		○		○		○	○	(1)2023年度第2回車両運搬車分科会 10/18 ①法規動向、R158/165進捗状況の共有 ②各社の生産状況並びに課題を共有。 ③11/16陸送協同研修会を実施	

4. 部会活動報告

2023年度事業計画(パン部会) 部会長:田中理事 事務局:小森・鶴見

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
パン	1. 部会全体活動 (ねらい)部会内の横断的事業の展開	共通事項	○ 26		○ 28		○ 3				○ 19			○ 4			(1)総会(4/26)、第1回パン部会(6/28) 第2回パン部会(8/3) 第3回パン部会(12/19) 第4回パン部会(3/4) (2)官公庁情報の会員展開79件。意見照会43件、法規改正等22件、その他14件 (3)32件のリコール等重大不具合情報の展開 (4)工場見学会の実施 (5)会員生産台数の展開 (6)カーボンニュートラルの対応と対策 CN取り組み事例の展開
															○	(1)総会(4/26)、第1回パン部会(6/28) 第2回パン部会(8/3) 第3回パン部会(12/19) 第4回パン部会(3/4) (2)官公庁情報の会員展開79件。意見照会43件、法規改正等22件、その他14件 (3)32件のリコール等重大不具合情報の展開 (4)工場見学会 トランテックス(株)古河工場、日野自動車古河工場 12/13実施 (5)生産台数情報の共有(2023年2月) (6)2/9業務委員会での論議内容の共有 CN取り組み事例 5社5件	
															○	(1)総会(4/26)、第1回パン部会(6/28) 第2回パン部会(8/3) 第3回パン部会(12/19) 第4回パン部会(3/4) (2)官公庁情報の会員展開79件。意見照会43件、法規改正等22件、その他14件 (3)32件のリコール等重大不具合情報の展開 (4)工場見学会 トランテックス(株)古河工場、日野自動車古河工場 12/13実施 (5)生産台数情報の共有(2023年2月) (6)2/9業務委員会での論議内容の共有 CN取り組み事例 5社5件	
															○	(1)パン車「安全輸送ニュース」No.7発行 ・庫内オプション装備品の作動確認と損傷点検について床搬送装置、シーリング材などの損傷点検事例をあげわかりやすく解説する (2)【パンボディで押さえておきたい法規】の発行 ・2018年度発行した内容を改訂 近年施行された法改正を中心にわかりやすく説明 (3)工場見学について	
															○	(1)パン車「安全輸送ニュース」No.7発行 ・12/19パン部会にて承認 3月21日各会員へ発送 3月29日PDFデータ展開 (2)【パンボディで押さえておきたい法規】の発行 ・12/19パン部会にて承認 3月21日各会員へ発送 3月29日PDFデータ展開 (3)工場見学について ・10/13日本フルハーフ(株)にて技術委員会と併催	
															○	・3/6中央技術委員会の内容を技術委員会で共有 ・R158, R165, R155についての進捗情報共有 ・技術委員会で過去作成した6つのエビデンスのHP掲載を検討中	
会	4. 環境への取組み (ねらい)環境にやさしい車体のために 新環境基準適合ラベルを普及させる (ねらい)環境負荷物質を一層推進させ早期に全架装物への対応を完了させる	技術委員会													○	(1)CO2排出量調査回答状況 18/23社 82% (2)CN低減活動 ・業務委員会にて2024年度に向けたCN取組み活動の議論 (3)環境委員会による取得済会員へのランクアップ推進依頼を9/7展開 ・取得要望のある会員へのフォロー (4)環境委員会と連携した以下のフォロー ・重金属4物質フリー宣言 集約完了。全社フリー宣言済み ・VOC2023年度(2022年度実績)排出量 収集完了 ・産業廃棄物最終処分量2023年度(2022年度実績)調査完了 車工会目標達成	
															○	(1)CO2排出量調査回答状況 18/23社 82% (2)CN低減活動 ・業務委員会にて2024年度に向けたCN取組み活動の議論 (3)環境委員会による取得済会員へのランクアップ推進依頼を9/7展開 ・取得要望のある会員へのフォロー (4)環境委員会と連携した以下のフォロー ・重金属4物質フリー宣言 集約完了。全社フリー宣言済み ・VOC2023年度(2022年度実績)排出量 収集完了 ・産業廃棄物最終処分量2023年度(2022年度実績)調査完了 車工会目標達成	
															○	3/6中央技術委員会情報の共有 (1)・制度登録会員は昨年度末と変わらずの21社 (2)・点検の重要性とSDGsを紐づけた点検啓発用チラシ・ポスターを会員配布とホームページ掲載(9月) ・他社製品へのステッカー貼付要望をパン部会より分科会に提案、アンケート結果を元に論議予定	
															○	(1)関係団体(日本冷凍空調工業会)との交流 互いの活動の情報交換を主に、12/15の第5回技術委員会と併催で開催	
															○	(1)関係団体(日本冷凍空調工業会)との交流 互いの活動の情報交換を主に、12/15の第5回技術委員会と併催で開催	
															○	①2月の登録台数情報を会員展開(3/18) ②事前に困り事を収集し業務委員会でヒアリング対応を議論する方法を11/27業務委員会より開始した。	
会	7. 会員支援	業務委員会													○	(1)非会員リストの共有と新たな会員候補会社の有無確認(前回から変化なし)	
															○	(1)非会員リストの共有と新たな会員候補会社の有無確認(前回から変化なし)	
会	8. 会員加入の促進 (ねらい)部会の活性化														○	(1)非会員リストの共有と新たな会員候補会社の有無確認(前回から変化なし)	

4. 部会活動報告

2023年度事業計画(トレーラ部会)

部会長: 高崎理事 事務局: 森田(岩満)

(凡例)業委: 業務委員会、サ委: サービス委員会、ト委: 車両運搬用トラクタ委員会

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	24/1	2月	3月		
ト レ レ ラ 部 会	1. 安全への取組み 〈ねらい〉 トレーラ走行安全性の向上 ・法規適合確認活動など	技術委員会	(1)関連会議体に参画し情報収集と意見反映 ①新法規に係る対応 ・R155/R156 CS(サイバーセキュリティ)/SU(ソフトウェアアップデート) ・R158後退時車両直後確認装置(バックカメラ) ・駆動軸付トレーラの定義改正 (R13 R100)	(1)①JASICのWGに参画し、動向注視、審査マニュアル確認											○	(1)CS/SU&セキュリティWG&自工会合同WG (4月以降毎月1回参加) ・新規検査届出書への説明記載は不要となった。 ・車工会で架装工事ガイドラインを作成完了。車工会HPで閲覧可 (2024/4/16~) ・駆動軸付トレーラの定義改正に向けての情報入手し共有 ドイツ連邦道路研究所(BAST)にて走行テストを実施、車両安定性に影響なし。その後進展無し。
	2. 関係法令の改正等に伴う 的確な対応 〈ねらい〉 対応方針決定と情報展開		(1)共通構造部(多仕様自動車)に関する取組み 問題点整理、関係機関相談、届出方法レベル化 出荷検査検討(積載時制動能力、対象仕様車) (2)新たな協定規則に対する対応 R141(TPMS)・R142(タイヤ取付け)・R117(タイヤ単体騒音) R155/156(CS/SU)・R158(バックカメラ)・R165(バックブザー)・R100(電気自動車) (3)JASIC(自動車基準認証国際化研究センター)参画 ①ブレーキ分科会 ②灯火装置分科会 ③一般安全分科会 ④衝撃吸収分科会	(1)課題共有、審査・リコール課相談、自工会情報交換会											○	(2)R155/156(CS/SU) 関係会社WG実施 (9月以降毎月1回実施) ・CS要件のリスクアセスメントANNEX5パートA(脅威・脆弱性・攻撃性)部分について、サプライヤーへの問合せ内容が纏まつたため、12/20にサプライヤー送信し回答入手済み。精査中(24年度継続) パートB(車両型式への脅威)、C(車両外の領域への脅威)についても24年度に問合せを予定。
	3. 環境への取組み 〈ねらい〉 ・環境ラベル取得推進 ・重金属4物質リース宣言		(2)環境/新環境ラベル取得推進 (3)重金属4物質リース宣言	(2)環境ラベル リース宣言	依頼	回収									-	(1)環境ラベル取得推進フォロー 9/25 未取得会員アンケート開始し、トレーラ部会会員は回答済み (2)重金属4物質リース宣言フォロー 7/25 調査実施し、トレーラ部会会員は回答済み
	4. 他団体との情報交換 〈ねらい〉 ①製品に対する品質や仕様の 情報収集・共有と対応		(1)国交省・自工会等との情報交換・対応 ①自動車技術総合機構 ②大型車部会トランク分科会 ③自工会大型車部会 ④架装物コネクションWG 等 (2)全日・地方トランク協会 ①海上コンテナ部会 ②重量部会 (3)自動車技術会 ①ビーカル・インクス部会 ②連結装置部会(都度)	(1)①、②、③、④ 都度											○	(1)大・中型トラック高速道路の最高速度(90km/h)引き上げ: 2/27閣議決定、4/1から施行 警察庁・国交省と車工会でヒアリング (11/15実施) 現状ではトレーラの90km/h走行試験の実施が難しいと回答し、現状80km/hのままとなった (2)全日本トランク協会 重量部会より、講演依頼 トランク協会部会員(運送事業者)の実務担当者向けに、「トレーラのより安全な 使用について」講演 サービス委員会で対応(11/28実施)
	5. 経年車の安全な使用に向けて 〈ねらい〉 ①メーカーとしての留意点 認識・共有 ・ユーザーへの周知(訴求)		(1)点検整備の必要性を展開・周知する活動 一内容随時レベルアップ (2)点検整備・定期交換のサービスツール見直し、整備とユーザーへの周知・啓発活動(定期点検整備の手引き統合) (3)定期点検の重要性訴求媒体等の検討 (4)トレーラ部会工場見学会の計画・立案 (5)トレーラサービスマニュアルの改訂	(1)トレーラの安全な使用を全国のトランク協会で講演 24年度資料検討											○	(1)各都道府県トランク協会トレーラ研修会 サービス委員会分 16都県(16回)実施完了 (神奈川、秋田、福井、宮崎、香川、山形、東京、岩手、茨城、埼玉、岡山、宮城、京都、愛知、群馬、沖縄) 東京都トランク協会 重量部会講習会: 東京(1回)実施完了 (2)トレーラ日常点検下敷き完成 12月より購入可能(各社在庫調整後変更) (3)定期点検重要性訴求: 車工会HPのバナー広告に展開済 (4)工場見学計画、案内発信 12/1, 2 JFEスチール西日本製鉄所&エビコ福山リサイクル工場 完了 (5)トレーラ定期点検整備の手引き改訂内容確認実施
ラ 部 会	6. 会員事業の活性化支援活動 〈ねらい〉 トレーラ事業活性化 CN(カーボンニュートラル)対応	製品安全委員会	(6)整備事業者へトレーラ整備作業の周知活動 販社系整備事業者と日整連地方講習会の実地訪問 雑誌広告によるトレーラ点検整備方式の周知活動 (7)適正な交換部品の使用へトレーラの安全運行へ 雑誌広告と各社毎活動による純正部品使用の周知活動	販社系課題把握 分担計画 「技術情報」掲載▼ (3)各社毎周知活動 雑誌(フリーペーパー)掲載▼	日整連地方講習会課題把握 冬期点検整備強化月間 点検整備強化月間 周知活動 12/1, 2見学会実施済み	啓発活動 冬期点検整備キャンペーン 周知活動									○	(6)日整連主催の「整備事業指導者講習会」へのトレーラ整備作業の参入を 日整連へ要請し、実現可能な代替え案を相談した結果、次の2方策を実施する。 ・日整連主催の教育技術担当者説明会での周知活動(2/15実施) ・日整連から全国整備事業所(92, 200社)への配布資料の中に車工会チラシ同封(2024年度) (7)前項記載の「講習会」の内容の一部への追加。
			(1)①PR原稿検討・確認 (2)PR原稿検討・確認 (3)再生回数向上策論議 (4)都度 (5)CN調査・依頼・回収 (6)自動車検査官等研修会への協力(研修講師)	全国のトランク協会で講演 全国のトランク協会で講演 実施 事例(困りごと)共有 ▼8/24 ▼9/7 ▼12/7 ▼1/18											○	(1)各都道府県トランク協会トレーラ研修会 業務委員会分 16都県(16回)実施完了 (神奈川、秋田、福井、宮崎、香川、山形、東京、岩手、茨城、埼玉、岡山、宮城、京都、愛知、群馬、沖縄) 中国トランク協会 特車制度研修会: 広島(1回)実施完了 (2)③トレーラ研修での動画紹介と資料へのQRコードしPRを継続 (4)補助事業(コンテナ専用トランク等導入事業)の紹介、共有実施 (5)CO2調査回答フォロー実施、各社のCN活動(改善等)事例を共有 (6)自動車技術総合機構と連携し実施完了(実績 8/24, 9/7, 12/7, 1/18) 24年度: 小平産業様
			(1)国内生産需要予測検討・公開(プレスリリース発出) 〈ねらい〉 ①台数情報を通じて市場状況を判断	(1)検討 公開★											○	(1)自販連からのトレーラ登録台数データを毎月入手し共有 ※データ入手方法変更(改善): CD→メール添付データ
ト レ レ ラ 部 会	7. 生産台数情報等の共有	業委	(1)車両運搬用トランクの組合せ自主審査	(1)都度											-	(自主審査なし)
	8. 車両運搬用トランク委員会															

4. 部会活動報告

2023年度事業計画(バス部会) 部会長:石川理事 事務局:岩瀬

(凡例) 部会:部会全体、業務:業務委員会、技術:技術委員会、機器:ワンマン機器委員会、塗装:塗装デザイン研究会

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1. 部会全体活動 <ねらい> 部会内横断的活動による活性化	(1)部会総会 (2)会員工場施設見学会 (3)部会長との次年度課題打合せ (4)本部委員会と連携し2030年度CN目標達成に向けた活動 (好事例/困りごとの収集と共有) ・商用車電動化協調領域での対応推進 ・生産協調領域での対応推進	部会	◎ 総会 (小松) 検討					○ 実施					○ 実施		○	(1)部会総会:ジェイ・バス小松工場にて実施 (4/12 4社8名参加) (2)三菱ふそうバス製造㈱、天龍工業㈱の工場見学実施 (9/5 4社15名参加) (3)ジェイ・バス宇都宮工場にて実施 (2/6) (4)技術委員会及び業務委員会にて情報共有 ・工場見学時に三菱ふそうバス製造㈱のCN取組みについて共有 ・当会HP掲載内容の共有 ・各社での取組事例共有 (塗装不要のダイレクトプリント、LED化、社用車&フォークリフト電動車化)	
2. 規格化・標準化の推進 <ねらい> バス車体メーカー及び 機器メーカーが共通に使用できる	(1) J A B I A 規格改正 ①JABIA B1004 (バス用乗客降車合図装置) の改正 (2)バス車体塗色見本帳2023年版の発行と拡販 (3)国際基準との調和活動への参画 ①衝撃吸収・一般安全分科会 (JASIC主催) ②車体部会 (自技会主催)	技術 ・機器 塗装 技術	案作成 → 機器メーカー確認 → 内容審議 → 最終確認 ☆	製作状況確認 ○	検収 ○	販売 ☆	販売 ☆	拡販活動 →						○	(1)市場調査及び現状把握実施 (5/18, 6/8, 7/10, 8/7, 9/12, 10/10, 11/7, 12/19, 1/16, 2/13, 3/12) バリアフリーの観点から押し鉤の「色」に注目し検討を進めるなどを確認 カラーユニバーサルデザイン取得の機器メーカーから色覚研究内容を調査 (9/2)、色覚多様性キット体験 現状の規格では色弱者に見えにくいことが判明したため要再検討とし、24年度継続する (2)発注部数: 500セット、色数: 346色、8色/1枚 販売開始 (10/1~) 販売価格: 12,600(バス部会)~13,500円(他部会)~16,000円(一般) HP掲載、ニュースリリース発行 (9/27) 販売状況: 3/31時点 57セット (3)JASIC対応関連会議の動向共有 (自工会バス分科会にて都度共有) ・既存のチャイルドシートを2点式シートベルトで固定する要件策定について合意 ・欧州にて車室内の子供置き防止の動きあり ・バスドライバーの前面衝突時保護対策については、5月のGRSPで要否決定		
3. 共同研究・調査活動 <ねらい> 将来バスの構造検討と バスの更なる安全性の向上 (自工会バス分科会活動に参画)	(1)次期ノンステップバス標準仕様の検討 (2年目/3年計画) (2)車外カメラモニターシステム (CMS) の研究 (1年目/2年計画)	技術	自工会活動計画による											○	・実車改造内容確認 (9/13)、評価 (11/24)、モックアップ等によるデータ採取 (11/27-30) 評価項目: 乗り込むときの手すり、車いすワンタッチ固定装置、床面の色分け 車いす利用者拘束装置、フリースペースの手すり&降車ボタン位置 自工会活動計画による	○	・対象既存ミラーの確認とそれに関わる国内法規及び協定規則R46整理 (6/14) ・バスワールド(ヘルギー開催)でのカメラモニターシステム調査実施 (10/7~10 JARI委員参加)
4. 法規・安全対策関係への対応 <ねらい> バスの更なる安全性の向上	(1)リコール等重大不具合再発防止活動 (2)協定規則、法規改正等への対応 ①R165 (車両後退通報装置) ②R158 (後退時車両直後確認装置) ③バス3点式シートベルト提案への対応 ④ビルトインチャイルドシート提案への対応	技術 ・機器	発生の都度実施 →											○	・発生の都度、技術委員へ展開 ①、②当会WG活動の情報共有 ③、④JASIC主催衝撃吸収分科会及び自工会バス分科会の情報共有 (4/14, 5/10, 6/14, 7/12, 9/13, 10/11, 11/8, 12/20, 1/17, 2/14, 3/13)		
5. 当会会員の塗装技術の向上 <ねらい> 当会会員の塗装技術者の塗装品質 向上の一助	(1)当会会員向け塗装技術勉強会の実施	塗装	講師調整 具現化・会員案内 →				○ 開催	まとめ ☆						○	・今年度講師予定の大日本塗料と時期、勉強会内容について調整 (7/25) ・勉強会開催案内展開 (9/4) 開催日: 11/16 講師: 大日本塗料㈱ 16社16名参加 テーマ: 自動車補修塗装概論 「下地処理～ペイント～中塗り～上塗り～磨きの流れ」の中での補修ポイント		
6. 日本バス協会との連携強化 <ねらい>バスユーザ情報の把握	(1)バス協会主催イベントへの参画	技術				○ 中央技術大会								○	・日本バス協会中央技術委員会全国大会に技術委員長が来賓として出席 (10/26)		
7. バス市場情報の共有 <ねらい> 市場状況の分析、把握	(1)生産台数情報の共有 (2)バス市場情報の共有	業務 業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・四半期毎に生産台数、バス市場等の情報共有実施 (7/11, 10/10, 12/12, 3/14) ・新聞、雑誌等のバス市場情報の共有実施 (都度) (国鉄バス1号企画展、電気バス導入事業者アンケート結果、上期訪日客数) ・市場情報の共有 (7/11, 10/10, 12/12, 3/14)		

4. 部会活動報告

2023年度事業計画(小型部会) 部会長:濱口理事 事務局:松本

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

担当	項目・ねらい	実施項目	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小型部会	1. 車体工業会事業活動の支援 (ねらい) 車体工業会内で生産台数比率が高い部会として相応の役割を果たす。	・CN、環境取組み活動等、車体工業会重点事業への積極的な支援	部会					(随時実施)							○	・CN勉強会の講師、訪問支援メンバーの派遣、技能系社員研修の受け入れなど 当会重点事業へ積極的に貢献
	2. 会員間相互交流・技術交流の推進 (ねらい) 会員間交流により、共通課題の情報交換等で相互理解を深めるとともに、海外メーカーや部品メーカーとの情報交換、技術交流を積極的に進め、自社事業への参考とする。	(1)会員会社工場見学会の実施 (2)異業種訪問、工場見学会等の実施 (3)学生フォーミュラ日本大会2023視察 (開催期間:8/28~9/2)		○	部会総会(計画調整)	案内	準備	実施☆	案内	実施☆	案内	準備	実施☆	△	(1)・部会総会を実施(4/20 5社12名参加) ・会員会社見学会@トヨタ自動車東日本 大衡工場(11/24~25 5社12名参加) ・異業種(新明和工業 甲南工場)を視察(2/2 4社8名参加) (3)学生フォーミュラ日本大会2023視察実施(9/1 2社2名参加) 次年度以降は活動を技術情報共有会に見直す事で決定(2/19)	
	3. 経営支援・法規制情報の提供 (ねらい) 経営支援・法規制情報を提供し、事業活動への参考とする。	・経済産業省施策、経団連、自動車会議所自動車技術会、当会等、企業経営に有用な各種情報の展開						(随時実施)						○	・当会主催の講演会を経営企画部門・技術委員へ配信 ・当会主催技術発表会にて2事例を発表(トヨタ車体・トヨタ自動車東日本)	

2023年度事業計画(資材部会) 部会長:小澤理事 事務局:信澤

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

担当	項目・ねらい	実施項目	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
資材部会	1. 全体活動 (ねらい) 会員相互または正会員との交流を深める。	(1)部会総会の実施 (2)CNの取組 (3)工場見学会の実施(年1回) (4)役員の実施(年2回) (5)部会広報活動(年4回、計8社)	部会	○		計画	○	案内	○	実施☆		○	○	○	○	○	(1)部会総会実施(4/28、36社65名参加) (2)CO2調査回答 92.5%、CNアンケート回答 60.0% (3)トヨタ車体工場見学を見学(12/12 21社27名参加) (4)役員会を開催(3/22)、2024年度事業計画等を検討 (5)会員会社の環境・CN対応等紹介(取材8社:夏号、秋号、冬号、春号へ掲載)
	2. 分科会・グループ活動の推進 (ねらい) 分科会・グループ活動の推進を図る。	(1)分科会活動の実施(2分科会各1回) (2)各種グループ課題の解決(随時)						○	○	○	○				○	(1)第一分科会で産業遺産情報センター見学会を実施(11/21 10社 12名参加) (2)フィルムグループで2024年度調査研究について検討を実施(2/28) フィルムグループで講演会を実施(12/5 会場19名、WEB47回線)	
	3. 他部会との連携 (ねらい) 共通課題を共同調査、研究を推進し部会業務に活用する。	(1)バス部会 技術委員会との連携(継続) (2)バス部会 ワンマン機器委員会との連携(継続) (3)中央技術委員会技術交流会へ参画(新技術紹介)						(随時実施)							○	(1)JABIA規格・標準化に向けた調査研究の審議に参画(11/7、12/19) (2)JABIA規格改正に向けた取り組みに参画	
	4. 調査研究業務の推進 (ねらい) 共通課題を共同調査、研究を推進し分科会業務に活用する。	(1)燃焼試験実態調査(随時)、委員会開催(年1回) (2)講演会(実施時期検討) (3)テーマ:「グレア」に関する調査研究の進捗状況	部会		○	(随時実施)									○	(1)委員会を開催(7/7) 下期、2事業所の実態調査を実施(12/11、12/22) (2)講演会を開催(4/28、36社65名参加) 技術発表会で「グレア」に関する調査研究内容のプレゼンを実施(1/18)	
	5. 関係団体、部会との連携 (ねらい) 委員を派遣し部会意見反映とともに情報収集を図る。	(1)自動車技術会 車室内VOC測定分科会 (2)基準認証国際化センター(JASIC)灯火器分科会 (3)国交省 反射式ナンバー検討会						派遣先活動計画に従い活動内容を報告							○	・派遣先活動計画に従い継続し、委員を派遣	
	6. 環境・技術・業界情報の提供 (ねらい) 規格・法規制情報の提供を行い、事業活動への参考とする。	・中央技術、中央業務、環境委員会並びに各部会、関係官庁等の情報展開を実施(随時)	部会					(随時実施)							○	・会員へ法規改正、意見照会、リコール情報等を展開(随時)	
	7. 部会活性化の取組み (ねらい) 車体工業会への行事参加や部会内活動を活発にしていく	・本部行事へ参画 (総会、会員大会、講演会等)			総会(5/26) ○ (7/20)				○ (10/19)		秋季会員大会(10/27) ○ (1/18)				○	・総会(5/26、52社79名参加)・秋季会員大会(10/27 45社 82名参加) ・国土交通省の講演会(7/20、11社21名参加予定) ・いすゞ自動車の講演会へ参加(10/19 会場15名 WEB46回線) ・技術発表会(1/18、11社21名参加予定)	

4. 部会活動実績

部会会議実績

会議名		実施回数								補足
		特装	特種	トラック	バン	トレーラ	バス	小型	資材	
部会／委員会	部会総会	1	1	1	1	1	1	1	1	
	部会/部会長報告会	2	4 (合同)	4	4	1	1	—	4	
	技術委員会	4		6	6	12	11	1	0	
	業務委員会	4		4	4	4	4	0	0	
	工場見学会/視察	8	2			1	1	3	3	
	部会固有委員会/分科会	34	—	2	—	18	16	—	18	特装 サービス委員会(12) ダンプ車(4) 脱着車キャリア/コンテナ(4) ミキサ車(4) 塵芥車(6) クレーン(4)ローリ(4) 粉粒体運搬車(4) 清掃車小委員会(4) トラック 車両運搬車分科会(2) トレーラ サービス委員会(11) 製品安全委員会(7) 車輌運搬用トラクタ審査(0) バス ワンマン機器小委員会(11) 塗装デザイン研究会(5) 資材 フィルムグループ(12) 第一、第二分科会(2) 広報会議 (4)
他団体交流		0	1	1	1	22	1	—	—	特種 自動車技術総合機構 技術検討会(1) トラック 日本陸送協会 合同研修会(1) バン 日本冷凍空調工業会 交流会(1) トレーラ 自動車技術総合機構 自動車検査官等 研修講師(4) バス 全国&都道府県トラック協会 研修会(18) 日本バス協会中央技術委員会 全国大会(1)

4. 部会活動実績

2023年度部会員数（2024.3.31現在）

部会	部会員数	入会	退会
特装	46	タニ工業(株) (1月) ジーエムいちはら工業(株) (3月)	(株)室井製作所 (7月)
特種	59	Takano Work's (7月)	なし
トラック	78	なし	なし
バン	27	なし	なし
トレーラ	15	なし	なし
バス	4	なし	なし
小型	5	なし	なし
資材	106	(株)アサイマーリングシステム (10月) (株)コラント (3月)	(株)TBカワシマ (3月)

5. 本部行事・委員会・部会開催一覧

年月日	項目	概要
2023年 4月12日～ 13日	バス部会／部会総会（石川）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認 ④ 日本自動車博物館見学
4月13日 ～14日	トラック部会／部会総会（静岡）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認
4月14日	バス部会／技術委員会・ワンマン機器小委員会 合同会議（Web会議）	① 2023年度活動計画の確認 ② 協定規則、法改正情報の共有
4月18日	特装部会／部会総会（神奈川）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認
4月20日	常任委員会（当会会議室+Web会議）	部会分科会積立金対応について意見交換
	第271回理事会 (当会会議室+Web会議)	① 審議事項 第1号議案 2022年度事業報告まとめ 1-1 事業報告概要 1-2 会員状況 1-3 会員会社の車体生産状況の推移 1-4 本部活動実績一覧 第2号議案 2022年度収支決算報告 第3号議案 2023年度事業計画（案） 3-1 事業計画概要 3-2 本部委員会事業計画 3-3 部会事業計画 3-4 支部事業計画 第4号議案 2023年度収支予算（案） 第5号議案 2023-2024年度理事・監事（案） 第6号議案 2023-2024年度相談役承認に関する件 第7号議案 2023年度車体工業会優良従業員表彰（案） 第8号議案 2023年度車体工業会功労者表彰・永年在籍会員表彰（案） ② 報告事項 1) 2023年度本部委員会体制 2) 2022年度会員のリコール等重大不具合結果 3) ジャパンモビリティショーアー2023『働くくるまの合同展示』について 4) 2022年度国内商用車販売状況 5) 最近の官公庁情報 6) 会からのトピックス(特装部会) 7) その他報告事項
	小型部会／部会総会（当会会議室 +Web）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認
4月21日	特種部会／部会総会（東京）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認
	バン部会／技術委員会（当会会議室+Web 会議）	① 2023年度テーマの確認と役割分担 ② バックカメラWGの報告
	トレーラ部会／製品安全委員会（Web会 議）	① 2023年度製品安全委員会体制確認 ② 整備事業者へのトレーラ整備作業の周知活動進め方論議
4月24日	資材部会／フィルムグループ	① 保安基準改正に関する進捗状況報告 ② 再帰反射材のグレアの調査研究の計画について確認
4月25日	CN勉強会第4回実践編（Web会議）	11社22名が参加し、以下勉強会を開催 (講師：トヨタ自動車東日本(㈱)松井部長) ① CNとは（振り返り） ② CN推進方策（実践編）
	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討 WG（Web会議）	① 自工会との合同会議結果の共有と対応確認 ② ルールを記載したガイドライン及び指針について意見交換
	特装部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	メンテナンスニュースNo.56の構成について意見交換

年月日	項目	概要
4月26日	中央技術委員会／車両後退通報装置検討WG（面着+Web併用会議）	① 第15回R165国内採用WG報告 ② 残課題解決の方策及び今後の進め方について議論
	トレーラ部会／部会総会（当会会議室+Web会議）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認
4月26日～27日	バン部会／部会総会・見学会（福岡）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認 ④ (株)矢野特殊自動車を見学
4月27日	トレーラ部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度トレーラ総会審議内容 情報共有 ② CS/SU&コネクテッドWG会合、バックカメラ義務化対応WGの情報共有
4月28日	資材部会／部会総会（東京）	① 2022年度事業報告及び収支決算報告の審議・承認 ② 2023年度事業計画及び収支予算及び部会費の審議・承認 ③ 2023年度部会役員・委員の審議・承認
	資材部会／講演会（東京+Web会議）	講演会の実施： ①「大型車両に貼付された再帰反射材の視認性について」 ②「2020年代のものづくり戦略とサプライチェーン変革 デジタル化と日本経済・地域経済」
5月9日	相談役会（Web会議）	① 2023年度事業計画（案）についての諮問、答申 ② 2023年度収支予算（案）についての諮問、答申
	評議員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画（案）についての諮問、答申 ② 2023年度収支予算（案）についての諮問、答申
5月10日	バス部会／技術委員会・ワンマン機器小委員会合同会議（Web会議）	① 2023年度活動項目の進捗状況共有と対応確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応検討
5月11日	トレーラ部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度トレーラ総会審議内容情報共有 ② トレーラ点検整備の手引き統合・編集
5月18日	中小会員ネットワーク強化WG／営業マン勉強会（当会会議室+Web会議）	① 2022年度勉強会の成果発表会 ② 2023年度取組みテーマ共有
	特装部会／塵芥車技術分科会（Web会議）	① 嘘芥車製作基準(JABIA-P1701)見直しについて進捗確認 ② その他、情報共有並びに意見交換
5月19日	中央技術委員会／CS/SU&コネクテッド検討WG(web会議)	① 自工会との合同会議及びJASIC主催会議の結果共有と対応確認 ② ルールを記載したガイドライン及び指針について意見交換
5月24日	トレーラ部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① CS/SU&コネクテッドWG会合 情報共有 ② バックカメラ義務化対応WG、JASIC灯火器分科会情報共有
5月25日	特装部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	メンテナンスニュースNo.56の内容について意見交換
5月26日	通常総会（東京+Web会議）	<別掲参照>
	臨時理事会（東京）	会長、副会長、専務理事選任
5月29日	CN勉強会第5回実践編（Web会議）	6社50名が参加し、以下勉強会を開催（講師：トヨタ自動車東日本(株)松井部長） ① CNとは（振り返り） ② CN推進方策（実践編）
	第1回広報委員会（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況の確認・論議 ② 車体N E W S 夏号の校正と秋号の企画論議
5月30日	特装部会／脱着車分科会（防災コンテナ小委員会）（当会会議室+Web会議）	2023年度小委員会の活動の進め方について議論
6月1日	特装部会／清掃車小委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有
6月5日	安全衛生活動WG（Web会議）	① 2023年度活動計画の確認 ② 2022年度収集した災害事例の会員展開前最終確認
6月6日	トレーラ部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 神奈川県トラック協会講習会実施結果報告 ② 2023年度各県トラック協会講習会 開催予定日と講師の確認 ③ 講習資料の訂正内容の共有
6月8日	商用車ショーエンパ委員会兼 出展社会議（当会会議室+Web会議）	① 展示車両スペック等の確認とレイアウト確認 ② 当会合同展示ブースの企画内容の確認と意見交換
	バス部会／ワンマン機器小委員会（Web会議）	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換
6月9日	トラック部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 中小会員支援状況の中央業務委員会報告内容の共有・論議 ② 「車体メーカー社員が知つておくべき法規集」LV1(製造向)LV2(設計向)内容論議
6月14日	バス部会／技術委員会・ワンマン機器小委員会合同会議（Web会議）	① 2023年度活動項目の進捗状況共有と対応確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応検討

年月日	項目	概要
6月15日	環境委員会／架装物リサイクル分科会（Web会議）	① 2023年度取組活動内容、スケジュール論議 ② 2023年度環境ラベル訪問支援活動進め方論議
	バン部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 中小会員支援状況の中央業務委員会報告内容の共有・論議 ② CNの今後の進め方論議
6月16日	バン部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① 調査・研究テーマワーキング ② R158/R165進捗の共有
6月20日	中央技術委員会／CS/SU&コネクテッド検討WG（Web会議）	自工会による架装工事後のCS車両新規登録までの手順に関する国交省への説明会に向けた対応について意見交換
6月20日	環境委員会／工場環境分科会	① 2023年度取組活動内容、スケジュール進捗確認 ② 2023年度各調査（CO ₂ 、産廃、VOC）の進め方共有 ③ 2023年度CN（産廃）訪問支援活動進め方論議
6月21日	特装部会／技術委員会（Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 2030年度CN目標達成に向けた今年度の活動について議論 ③ 2023年度技術発表会テーマの展開
	特装部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況と生産台数の共有確認 ② 中小企業会員支援策の意見交換
6月21日～22日	中小会員NW強化WG／工場見学会（茨城、栃木）	① WGメンバー10社10名による(株)ヤシカ車体、小平産業(株)工場見学会実施 ② 2023年度第1回WGを開催し、事業計画の進捗共有論議
6月23日	トラック部会／車両運搬車分科会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 陸送協会との合同研修に向けた進め方議論
	トレーラ部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度各県トラック協会講習会開催予定日と講師の確認 ② トレーラ日常点検パンフレット訂正内容の論議 ③ トレーラ定期点検整備の手引きの修正内容の論議 ④ 2023年度トレーラ部会工場見学会進め方論議
6月27日	CN勉強会第6回実践編（Web会議）	5社21名が参加し、以下勉強会を開催（講師：トヨタ車体(株) 杉山室長） ① CNとは（振り返り） ② CN推進方策（実践編）
6月28日	バン部会／部会会議（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 環境基準適合ラベル取得の推進、進捗状況の共有
6月29日	第21回CN専門委員会（Web会議）	① 2022年度までの振り返り ② 第20回CN専門委以降の状況 ③ 2023年度活動計画
	中央技術委員会／点検整備推進分科会（Web会議）	① 点検制度運用状況と部会活動の共有 ② 点検啓発用チラシ・ポスター・デザインの合意
	特装部会／脱着車キャリアコンテナ技術分科会（Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有
	トレーラ部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① CS/SU対応について進捗状況共有と協議 ② CS/SU&コネクテッドWG情報共有 ③ R117-04国内採用WG情報共有
	環境委員会／架装物リサイクル分科会（神奈川県）	環境基準適合ラベル取得支援（カーゴテック・ジャパン(株)）
6月29日～30日	特種部会／工場見学会（香川）	若手対象の工場見学を(株)タダノ、フジタ自動車工業(株)で開催
6月30日	現地現物による技能系社員研修～現場を知る～（群馬）	(株)ケイエムオーワー工場見学実施
	トレーラ部会／製品安全委員会（Web会議）	整備事業者へのトレーラ整備作業の周知活動の進捗状況の共有と今後の対応を論議
	特装部会／クレーン技術分科会（当会会議室）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有
7月3日	第1回中央技術委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について意見交換 ② 高電圧特別教育の会員展開内容の確認
7月4日	第1回環境委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度環境ラベル取得推進訪問支援の状況報告 ② 2023年度CN連携活動計画、各調査(CO ₂ 他)計画の報告
7月5日	特装部会／サービス委員会（Web会議）	メンテナンスニュースNo.56（油圧作動油編）の意見交換
7月6日	中央技術委員会／CS/SU&コネクテッド検討WG（Web会議）	① 自工会による架装工事後のCS車両新規登録までの手順に関する国交省への説明結果の共有と対応について意見交換 ② 当会分担資料仕上げに向けた対応
	第1回中央業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 2024年度税制改正要望論議・決定

年月日	項目	概要
7月7日	特装部会／ミキサ車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有
	資材部会／燃焼性試験実態調査委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度難燃性試験実態調査についての実施について確認 ② 防滑性床上張り材の試験方法の変更について審議、承認
7月10日	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換
7月11日	トラック部会／部会会議（北海道）	① 事業計画の進捗状況共有・論議 ② CN部会活動について情報交換
	バス部会／業務委員会（Web会議）	① 本部委員会情報の共有 ② バス市場情報の共有
7月12日	特装部会／ダンプ車技術分科会 (Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有
	バス部会／技術委員会・ワンマン機器小委員会 合同会議（Web会議）	① 2023年度活動項目の進捗状況共有と対応確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応検討
7月13日	中小会員NW強化WG／営業マン勉強会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度キックオフ ② テーマに対するチーム論議
7月14日	バン部会／技術委員会（Web会議）	① 調査・研究テーマのWG開催 ② 中央技術委員会内容の共有
7月19日	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 秋田県トラック協会講習会の実施結果報告 ② トレーラ日常点検パンフレット訂正内容の確認 ③ トレーラサービスニュースの見直し論議
7月20日	常任委員会（当会会議室+Web会議）	① 業務改革推進状況 ② 車工会の更なる活性化等
	第272回理事会 (当会会議室+Web会議)	① 審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 ② 報告事項 1) CNの取組み状況 2) 2023年度事業計画 本部・部会・支部別1/4期実績まとめ 3) 2023年度1/4期 収支実績まとめ 4) 商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況 5) 税制改正に関する要望 6) 最近の商用車販売及び会員生産台数 7) 部会・支部からのトピックス(トラック部会・新潟支部) 他
	講演会（くるまプラザ+Web会議）	国土交通省による講演会を実施 テーマ：「最近の自動車技術行政について」講 師：審査・リコール課長 小磯和子氏
7月21日	トラック部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度基準化・基準化進捗報告・論議 ② 中央技術委員会情報の共有
7月24日	特装部会／ローリ技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有
	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG (Web会議)	当会分担資料（架装工事事例集）の内容確認と意見交換
7月25日	環境委員会／架装物リサイクル分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度環境ラベル訪問支援活動 支援先選定を論議 ② 環境取組みの認定制度について論議
	バス部会／塗装デザイン研究会 (Web会議)	今年度実施の会員向け塗装勉強会の講師予定会社と企画内容について 意見交換
	資材部会／役員会 (くるまプラザ会議室)	① 2023年度CNの取組みについて意見交換 ② 調査研究項目の進捗状況の確認等
7月26日	中央技術委員会／テールゲートリフタ 技術分科会 (Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② TGL労働災害撲滅に向けた取組みの進捗状況確認
	バン部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 調査・研究テーマワーキング ② 新規検査時の指摘についての情報共有
7月27日	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① CS/SU対応について進捗状況共有と協議 ② CS/SU & コネクテッドWG情報共有 ③ トレーラ後軸重規制緩和について意見交換 ④ R117-04国内採用WG情報共有
7月28日	特装部会／粉粒体運搬車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有
7月31日	特装部会／塵芥車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 嘘芥車の製作基準(JABIA-P1701)の見直しについて議論 ③ CN活動に関する共通課題の情報共有
	商用車ショーエンジニアリング委員会兼出展社会議 (当会会議室+Web会議)	当会合同展示ブースのデザイン、集客イベント及びPRツールの確認と意見交換
8月1日	トレーラ部会／製品安全委員会 (当会会議室+Web会議)	① 整備事業者へのトレーラ整備作業の周知活動の意見交換 ② 適正な交換部品の使用について周知状況の確認

年月日	項目	概要
8月2日	中央技術委員会／バックカメラ義務化WG（当会会議室+Web会議）	R158国内運用について車工会内説明書の情報共有
8月3日	バン部会／部会会議（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② CN部会活動について情報交換
8月7日	特装部会／サービス委員会（Web会議）	メンテナンスニュースNo.56（油圧作動油編）の最終確認
8月7日	バス部会／ワンマン機器小委員会（Web会議）	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換
8月10日	環境委員会／工場環境分科会（兵庫県）	CN、工程改善・現地意見交換会（株）パトライ
8月22日	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG（Web会議）	当会分担資料（架装工事ガイドライン・架装工事事例集）の内容確認と意見交換
8月23日	中央技術委員会／車両後退通報装置検討WG（当会会議室+Web会議）	① 国交省、自動車技術総合機構との打合せ内容の共有 ② 自工会運用案の前後範囲起点位置について議論 ③ 各委員（所属部会）の後退通報に関する意見交換
8月24日	中央技術委員会／突入防止装置技術委員会（Web会議）	JABIAリベット制度運用調査に向けた計画内容の意見交換と確認
8月28日	CN勉強会第7回実践編（Web会議）	6社15名が参加し、以下勉強会を開催（講師：トヨタ自動車東日本株） ① CNとは（振り返り） ② CN推進方策（実践編）
8月29日	トレーラ部会／技術委員会（Web会議）	① CS/SU対応について進捗状況共有 ② CS/SU & コネクテッドWG情報共有 ③ トレーラ後輪重規制緩和について意見交換 ④ R117-04国内採用WG情報共有
8月30日	特装部会／脱着車分科会（多目的 コンテナ小委員会（）当会会議室）	多目的コンテナの普及活動目標及び進め方について議論
	トレーラ部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① 宮崎県トラック協会講習会の実施結果報告 ② 自動車検査員講習会の実施結果報告 ③ トレーラ部会工場見学会の検討 ④ トレーラ定期点検の手引きの修正検討
8月31日	中央技術委員会／バックカメラ義務化WG説明会（当会会議室+Web会議）	R158国内運用について車体工業会内説明書の会員向け説明会の実施
9月1日	第2回広報委員会（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況の共有と論議 ② 車体NEWS秋号の校正・編集
	トラック部会／第2回業務委員会（広島）	① (株)大上自動車工業、共立工業(株)の工場見学を実施 ② 事業計画の進捗状況の共有・論議
	小型部会／技術委員会（静岡）	自動車技術会主催の学生フォーミュラ全日本大会2023視察
9月5日	トレーラ部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 各県トラック協会講習会実施結果報告（4県） ② 研修資料の訂正内容検討及び追加
	バス部会／見学会（富山）	三菱ふそうバス製造(株)と天龍工業(株)を見学
9月6日	トレーラ部会／製品安全委員会（当会会議室+Web会議）	① 整備事業者へのトレーラ整備作業の周知活動論議 ② 適正な交換部品使用の広告内容確認
9月8日	中小会員NW強化WG（当会会議室）	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 人材確保のための施策論議
9月12日	バス部会／ワンマン機器小委員会（Web会議）	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換
9月13日	バス部会／技術委員会・ワンマン機器 小委員会合同会議（Web会議）	① 2023年度新規テーマの活動確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有
9月14日	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG（Web会議）	① 自工会内検討結果の共有 ② 当WG 基本方針の整理 ③ 自工会案に対する課題検討 ④ 代表者会議に向けた車工会見解まとめ
	環境委員会／架装物リサイクル分科会（当会会議室+Web会議）	① ホワイトラベル未取得会員向け 取得講習会の開催検討 ② 環境ラベル取得支援の訪問スケジュール、説明資料を共有
	特装部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の推進状況について共有 ② 第2回中央業務委員会（10/6開催）の内容について議論
9月19日	中央技術委員会／第2回点検整備推進分科会（Web会議）	① 架装物の安全点検制度運用状況の共有 ② 各部会の活動状況の共有・論議 ③ 制度の普及と点検実施率向上策意見交換

年月日	項目	概要
9月20日	環境委員会／工場環境分科会 (当会会議室+Web会議)	① CO2、VOC排出量調査結果を共有 ② CN推進WG進捗状況の共有・論議
	特装部会／技術委員会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 2030年度CN目標達成に向けた今年度の活動について議論 ③ 2023年度技術発表会テーマについて
	第2回支部連絡会 (福岡)	① (株)矢野特殊自動車工場見学を実施 ② 支部事業活動の共有化と良いとこどり活動について論議 ③ 車体業界の動き及び地域特有情報の共有
9月21日	バン部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 中小会員支援状況の中央業務委員会報告内容共有・論議 ② CN対応の今後の進め方論議
9月22日	トラック部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度基準化・標準化進捗報告・論議 ② 中央技術委員会情報の共有
	特種部会／合同委員会 (北海道)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 各社のCN対応事例の共有
9月25日	商用車ショー企画委員会兼出展社会議 (当会会議室+Web会議)	① 展示レイアウト、集客イベント、PRツール等の合意 ② 会期中運営方法の確認
9月26日	CN勉強会第8回実践編(Web会議)	2社5名が参加し、以下勉強会を開催 (講師：日産車体(株)安全環境部磯田部長) ① CNとは (振り返り) ② CN推進方策 (実践編)
	特装部会／脱着車キャリアコンテナ技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ 多目的コンテナ普及活動検討会の進捗について報告
9月28日	特装部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① メンテナンスユースNo.57 (労働安全規則改正) の意見交換 ② 異業種等工場見学について意見交換
	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 自工会取り組み内容について情報共有 ② CS/SU&コネクテッドWG情報共有 ③ JASIC一般安全分科会情報共有
10月2日	第2回中央技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について意見交換 ② 商用車電動化への会員展開内容の確認 ③ 2023年度技術発表会テーマについて
10月3日	第2回環境委員会 (当会会議室+Web会議)	① 環境ラベル取得推進 2023年度アンケート結果共有、今後の進め方論議 ② 会員各社のLCA算出方法について論議 ③ 特種部会内CN取組事例共有などの好事例を情報共有
10月5日	経団連／モビリティ委員会 (経団連+Web会議)	① 「国内外の環境変化とモビリティ産業の課題」経済産業省 伊吹 英明殿 講演 ② 「モビリティ産業の課題」 日本自動車工業会 総合政策委員長 長田殿 ③ 意見交換④今後の進め方等について
	特装部会／粉粒体運搬車技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ 工場見学会について意見交換
	資材部会／フィルムグループ (千葉)	「再帰反射材のグレアに関する調査研究」を千葉工業大学で試験を実施
10月6日	第2回中央業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② CNアンケート内容の論議・決定
10月10日	特装部会／ローリ技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ 工場見学会について意見交換
	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換
	バス部会／業務委員会 (Web会議)	① 中央業務委員会資料の共有 ② 2023年度活動CN目標達成に向けた活動の共有
10月11日	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG(web会議)	① 合同検討会の結果共有 ② 架装工事ガイドライン見直し方針の確認
	トラック部会／部会会議 (当会会議室)	① 事業計画の進捗状況共有・論議 ② CN部会活動について情報交換
	バス部会／技術委員会・ワンマン機器小委員会 合同会議 (Web会議)	① 2023年度新規テーマの活動確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有
10月12日	特装部会／クレーン車技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ 工場見学会について意見交換
10月12日～ 13日	環境委員会／架装物リサイクル分科会 (大阪・福井)	環境基準適合ラベル取得支援 ((株)ノルテ、岩崎工業(株))
	現地現物による技能系社員研修 (愛知)	トヨタ車体(株)グローバル生産支援センターにて実施 9社12名参加

年月日	項目	概要
10月13日	バン部会／技術委員会（神奈川）	① 第3回技術委員会を日本フルハーフ(株)工場見学と併催 ② 2023年度技術テーマの進捗共有・論議
10月16日	特装部会／塵芥車技術分科会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 嘘芥車の製作基準(JABIA-P1701)の見直しについて議論 ③ CN活動に関する共通課題の情報共有
10月17日	第22回CN専門委員会（Web会議）	① 本部委員会活動の共有・論議 ② 部会活動、支部活動状況の共有と論議
	特装部会／ミキサ・ダンプ車合同見学会（埼玉）	① メンバー5社10名による交通安全環境研究所自動車認証審査部 自動車試験場を見学 ② 第2回合同技術分科会開催 ③ ミキサ・ダンプ車における共通課題について意見交換
10月18日	環境委員会／架装物リサイクル分科会（神奈川県）	環境基準適合ラベル取得支援（光伸(株)）
	トラック部会／車両運搬車分科会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 陸送協会との合同研修に向けた進め方の論議
10月19日	常任委員会（当会会議室+Web会議）	① 当会ホームページ不具合対応について論議 ② 当会基盤強化＆活性化に向けて論議 ③ 2023年度 理事会メンバー見学会論議、確認
10月19日	第273回理事会（当会会議室+Web会議）	① 審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 ② 報告事項 1) 経団連「モビリティ委員会」報告 2) CNの取組み状況 3) 2023年度事業計画 本部・部会・支部別2/4期実績まとめ 4) 2023年度2/4期 収支実績まとめ 5) 2023年度JABIA規格化・標準化/調査研究2/4期進捗報告 6) CO ₂ ・VOC排出量フォローアップ結果 7) 2022年度会員原簿調査結果 8) 2022年度PL保険加入状況
	講演会（くるまプラザ+Web会議）	いすゞ自動車(株)による講演会 「国内商用車市場動向と業界を取り巻く環境」を実施
	資材部会／フィルムグループ（神奈川）	「再帰反射材のグレアに関する調査研究」をスリーエム ジャパン相模原事業所で実施
10月23日	CN勉強会第9回実践編（Web会議）	4社13名が参加し、以下勉強会を開催（講師：トヨタ車体(株) ① CNとは（振り返り） ② CN推進方策（実践編）
	中央技術委員会／テールゲートリフタ技術分科会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ 2023年度活動テーマ「TGL労働災害撲滅に向けた取組」について意見交換
	トレーラ部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① 自動車の点検及び整備に関する手引き共有 ② 電動化商用車架装時に係る関係法令と対応の共有
10月24日	中小会員NW強化WG／ 営業マン勉強会（北海道）	①「2024年問題への対応」についてのチーム活動成果の中間報告会を、札幌ボーダー工業(株)で開催。 ② 工場見学（11社11名+アドバイザー1名が参加）
10月24日～25日	特装部会／清掃車小委員会、工場見学会（茨城）	① メンバー5社14名による(株)加藤製作所工場見学 ② 第2回清掃車小委員会を実施
10月26日	特装部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① メンテナンスニュースNo. 57（労働安全規則改正）の意見交換 ② 2024年度メンテナンスニュースのテーマについて意見交換 ③ 異業種等工場見学について意見交換
10月26日～11月5日	ジャパンモビリティショーアップ（東京）	東展示棟屋外エリアに合同展示ブースを設置
10月27日	2023年度秋季会員大会（東京）	2023年度秋季会員大会を実施
10月30日	トレーラ部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度トレーラ部会工場見学会について ② CS/SU & コネクテッドWGについて情報共有 ③ 高速道路における大型貨物自動車等の最高速度引き上げ関係について
10月31日	トラック部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 次年度取組み項目の意見交換
11月2日	中央業務委員会／管理監督者層合同研修会（当会会議室）	「基本的リーダーシップ教育とコミュニケーション能力向上」を目的に外部講師より開催
11月6日	中央技術委員会／突入防止装置技術委員会（岡山）	JABIAリベット制度に関する運用実態調査を(株)岡山溶接所にて開催 ・使用状況、管理状況、品質保証体系、設計／実験状況 等
	環境委員会／工場環境分科会（静岡県）	CN、産廃低減・現地意見交換会（山田車体工業(株)）

年月日	項目	概要
11月7日	中央技術委員会／突入防止装置技術委員会（京都）	JABIAリベット制度に関する運用実態調査を須河車体(株)にて開催 ・使用状況、管理状況、品質保証体系、設計／実験状況 等
	環境委員会／架装物リサイクル分科会（京都）	環境基準適合ラベル取得支援（株）オーティーエス
	バス部会／ワンマン機器小委員会（Web会議）	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換
11月8日	バス部会／技術委員会・ワンマン機器 小委員会合同会議（Web会議）	① 2023年度新規テーマの活動確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有
11月9日	トレーラ部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① トランク協会宛講習会実施結果の共有 ② 2024年版特車通行制度の緩和について情報共有
11月9日～10日	現地現物による技能系社員研修（宮城）	トヨタ自動車東日本(株)トヨタ東日本学園で実施 2社3名参加
11月10日	環境委員会／トランク解体作業見学（栃木）	JTP解体作業見学会を実施
11月13日～14日	現地現物による技能系社員研修（神奈川）	日産車体(株)IN地区研修センターで実施 2社3名参加
11月14日	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG(web会議)	① 自工会合同会議、国交省説明結果の共有・論議 ② その他（次回日程等）
	トランク部会／工場見学会（石川）	トランクテックス(株)工場見学を開催。23社27名が参加
11月15日	特装部会／脱着車キャリア・コンテナ 合同分科会（栃木）	(株)テイセンテクノ本社工場見学会を実施
11月16日	環境委員会／架装物リサイクル分科会（当会会議室+Web会議）	① ラベルアンケート回答を踏まえ、説明会の要否を検討 ② 訪問支援情報・解体工場見学の共有 ③ 環境対応事例発表会・表彰について意見交換
	特装部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① メンテナンスニュースNo.57（労働安全規則改正）について ② 2024年度メンテナンスニュースのテーマについて意見交換 ③ 异業種等工場見学について意見交換
	バス部会／技術委員会塗装デザイン研究会（愛知）	塗装技術者向勉強会を大日本塗料(株)小牧事業所研修センターで実施 16社16名参加
	トランク部会／車両運搬車分科会（東京）	① 東京都トランク総合会館にて陸送協会との合同研修会を開催 ② 車両運搬車の生産状況及び安全対策についての論議
	トレーラ部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① 工場見学会（12/1,2）の準備状況の確認 ② 日常点検下敷きの準備状況の共有
11月16日～17日	特種部会／工場見学会（熊本・佐賀）	(株)イズミ車体製作所、(株)キヨーワ工場見学会を開催
11月17日	トランク部会／技術委員会（京都）	① 工場見学を須河車体(株)本社工場にて実施 ② 2023年度基準化・標準化進捗報告・論議 ③ 中央技術委員会情報の共有
11月21日	特装部会／脱着車分科会(多目的 コンテナ検討会)(当会会議室)	多目的コンテナの活用形態について議論
	資材部会／第一分科会（東京）	産業情報センターを見学
11月22日	環境委員会／工場環境分科会（Web会議）	CN対応各種WGの進め方論議
	特装部会／塵芥車分科会（Web会議）	塵芥車の製作基準(JABIA-P1701)の見直しについて議論
11月24日	特装部会／業務委員会（当会会議室）	① 事業計画4/3確認 ② 中央業務委員会報告内容の確認 ③ 工場見学会開催の検討
	小型部会／工場見学会（宮城）	① トヨタ自動車東日本(株)大衡工場の見学実施 ② 异業種研鑽活動/東北復興状況を視察
11月27日	バン部会／業務委員会（当会会議室+Web会議）	① 中小会員支援状況の中央業務委員会報告内容共有・論議 ② CN対応の今後の進め方論議
	トレーラ部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① CS/SU & コネクテッドWGについて情報共有 ② 高速道路における大型貨物自動車等の最高速度引き上げ関係について ③ R158打合せについて情報共有
11月28日	第3回広報委員会（当会会議室+Web会議）	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 車体NEWS冬号の校正・編集
	環境委員会／工場環境分科会（山形県）	CN、産廃低減・現地意見交換会（株）いそのボーダー
11月29日	安全衛生活動WG（神奈川）	日本フルハーフ(株) 厚木本社工場にて 工場見学及び事例紹介と共有を実施

年月日	項目	概要
11月30日	特種部会／合同委員会 (当会会議室+Web会議)	①事業計画の進捗状況の共有・論議 ②最新法規動向の共有・論議
12月1日 ~2日	トレーラ部会／工場見学会（広島）	JFEスチール㈱西日本製鉄所及び㈱エフコ福山本社の見学会を実施
12月5日	第3回中央業務委員会 (当会会議室+Web会議)	①事業計画の進捗状況の共有・論議 ②CNアンケート回答状況の共有及びCN推進方策の論議 ③中小会員NW強化WG及び安全衛生活動WGの共有
	トレーラ部会／製品安全委員会 (当会会議室+Web会議)	①整備事業者へトレーラ整備作業の周知活動の共有 ②適正な交換部品の使用 雜誌広告出稿の確認
	資材部会／講演会（東京）	テーマ1：『自動運転時代の車体反射特性』テーマ2：『諸施設におけるグレアの問題－各評価方法とその課題－』
12月6日	第3回中央技術委員会 (当会会議室+Web会議)	①2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ②新JABIAリベット制度運用調査結果について報告
12月7日	第3回環境委員会 (当会会議室+Web会議)	①架装物リサイクル分科会報告 1 環境ラベルの取得推進 2 易解体性設計の事例追加 3 JTP/JAERAとの情報交換会 4 重金属4物質フリー宣言 ②工場環境分科会報告 1 産廃最終処分量集約結果共有 2 CN WG活動進捗共有（支援 WG・LCA WG）
12月8日	中小会員NW強化WG／営業マン勉強会 (当会会議室+Web会議)	チーム活動結果の発表会を開催 テーマ「2024年問題を理解し、架装メーカーができるを考える」
12月11日	中央技術委員会／CS/SU＆コネクテッド検討WG（Web会議）	①架装物ガイドラインの論議 ②乗用車系架装車両のCS法規対応検討
	商用車ショーエンジニアリング委員会兼出展社会議 (当会会議室+Web会議)	①ジャパンモビリティショー2023振り返りとまとめ ②出展社アンケート結果の共有・論議 ③次回2025への課題の共有・論議
12月12日	トラック部会／部会会議 (当会会議室+Web会議)	①事業計画の進捗状況共有・論議 ②CN部会活動について情報交換
	バス部会／業務委員会（Web会議）	①中央業務委員会(12/5)及び環境委員会(12/7)資料の共有 ②2023年度第四半期活動及び2024年度4月部会総会の確認
	資材部会／工場見学会（愛知）	トヨタ車体㈱吉原工場見学会を実施
12月13日	特装部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	①2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ②2024年度特装部会のCN活動について議論 ③2023年度特装部会工場見学会の日程等調整
	バン部会／工場見学会（茨城）	トランテックス㈱、日野自動車㈱古河工場見学会を実施
	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	①工場見学会(12/1,2)実施結果の共有 ②都道府県トラック協会講習会実施結果の共有 ③2024年度トラック協会講習会用テキストの内容確認
	第2回支部連絡会 (当会会議室+Web会議)	①支部事業活動の共有化と良いとこどり活動について論議 ②次年度支部総会日程の確認
12月14日	第23回CN専門委員会（Web会議）	①2023年度活動報告 ②2024年度活動の方向性論議
12月15日	特装部会／粉粒体運搬車分科会 工場見学会（埼玉）	①2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ②CN活動の取組事項について確認 ③自動車精工㈱桶川工場見学会を実施
12月15日	バン部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	①2023年度技術テーマの進捗共有・論議 ②日本冷凍空調工業会との意見交換会を実施
12月18日	特装部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	①2024年度事業計画案について議論 ②異業種等工場見学会の日程等調整
12月19日	バン部会／部会会議 (当会会議室+Web会議)	①事業計画の進捗状況共有・論議 ②CN部会活動について情報交換
	バス部会／ワンマン機器小委員会（Web会議）	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の論議
12月20日	中央技術委員会／テールゲートリフタ 技術分科会（Web会議）	①2023年度第3回中央技術委員会内容の共有 ②特装車メンテナンスニュースNo.57内容共有 ③点検ステッカーの貼付けに関する分科会回答の共有
	バス部会／技術委員会・ワンマン機器 小委員会合同会議 (当会会議室+Web会議)	①2023年度新規テーマの活動確認 ②協定規則、法改正動向の共有と対応 ③他団体活動の共有 ④色覚多様性体験キットの体験と論議
12月21日	特装部会／クレーン技術分科会 (当会会議室+Web会議)	①2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ②CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ものづくり研究（工場見学）について

年月日	項目	概要
12月22日	CN勉強会第10回実践編(Web会議)	4社7名が参加し、以下勉強会を開催 (講師：日産車体(株)安全環境部磯田部長) ①CNとは（振り返り） ②CN推進方策
	特装部会／ローリ技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ ものづくり工場見学について
12月25日	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① CS/SUのトレーラ適用問題及び関連WGの共有・論議 ② 大型貨物自動車等の高速道路最高速度引き上げ関係の共有 R158対応及びトレーラ後軸重規制緩和嘆願の論議
2024年 1月5日	自動車5団体新春賀詞交歓会（東京）	2024年自動車5団体新春賀詞交歓会を The Okura Tokyoプレステージタワー1階「平安の間」にて開催
1月11日	特装部会／ミキサ車技術委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ TC195/ SC1(コンクリート機械)ミキサ関連情報共有
1月15日	中央技術委員会／車両後退時通報装置検討WG (Web会議)	① バス型車のバックブザーが見えていない車両への対応検討 ② みなし運用範囲の後方起点位置について変更内容を報告 ③ みなし運用を適用した場合の新規検査等届出書記載案について報告 ④ 音声アラームの検討状況について報告
1月16日	特装部会／ダンプ技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② CN活動の情報共有と今後の進め方について議論
	トラック部会／工場見学会（東京）	コクヨライブオフィス見学会を実施
	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 点検整備記録簿(2013版と2018版)の統合についての論議 ② 都道府県トラック協会講習会実施結果の共有 ③ 2024年度トラック協会講習会用テキストの内容確認
	バス部会／ワンマン機器小委員会（Web会議）	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の論議
1月17日	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG (Web会議)	① 架装物ガイドラインの論議 ② 乗用車系架装車両のCS法規対応検討
	特種部会／技術検討会 (当会会議室+Web会議)	自動車技術総合機構との第17回技術検討会を開催 6件の質問項目に対する質疑・応答
	バス部会／技術委員会・ワンマン機器小委員会合同会議（Web会議）	① 2023年度新規テーマの活動確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有
1月18日	常任委員会（当会会議室+Web会議）	① 2024年度予算について ② 部会費の在り方について
1月18日	第274回理事会 (当会会議室+Web会議)	① 審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 ② 報告事項 1) CN取組み状況 2) 2023年度3/4期事業計画 進捗状況 3) 2023年度3/4期収支実績 4) 2023年度JABIA規格化・標準化/共通化/調査研究 3/4期進捗報告 5) 産業廃棄物最終処分量2022年度実績 6) 2024年度税制改正大綱の概要 7) 2024年度予算案と2023年度補正予算について 8) ジャパンモビリティショー2023・車体工業会ブース実施結果報告 9) 最近の商用車販売及び会員生産台数 10) 部会、支部からのトピックス(トレーラ部会、中部支部) 11) 最近の官公庁関係情報 12) その他 12-1 2024年2月常任委員会開催について
1月18日	技術発表会（くるまプラザ+Web会議）	発表テーマ6件（中央技術、バン、バス、小型2、資材）
1月19日	特装部会／脱着車技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ コンテナ法規遵守リーフレットの更新について議論 ④ 多目的コンテナ普及活動検討会報告
	トラック部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度技術テーマの進捗共有・論議 ② 中央技術委員会情報の共有

年月日	項目	概要
1月23日	中央技術委員会／点検整備推進分科会 (当会会議室+Web会議)	① 制度の普及と点検実施率向上策を意見交換 ② 安全点検制度運用状況の共有
	特装部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 10月～12月ステッカー販売実績確認 ② メンテナンスニュースNo.58原案検討
	バス部会／塗装デザイン研究会 (Web会議)	① 塗装技術者向け勉強会(11/16)のまとめ ② 2024年度勉強会の日程や進め方の論議
1月30日	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① CS/SUのトレーラ適用問題及び関連WGの共有・論議 ② 大型貨物自動車等の高速道路最高速度引き上げ関係の共有 ③ R158対応及びトレーラ後軸重規制緩和嘆願の論議
2月1日～ 2日	特装部会／ローリ技術分科会工場見学会 (兵庫)	① 2024年度事業計画案について議論 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ (株)モリタエコノス工場見学会を実施
2月2日	小型部会／工場見学(兵庫)	新明和工業(株)航空機事業部の見学実施
2月5日	特装部会／工場見学会 (神奈川)	日産車体(株)特装部会工場見学会を実施
2月6日	中小会員NW強化WG (Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗状況の共有論議 ② 2024年度事業計画の論議
	特装部会／塵芥車技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② 嘉芥車の製作基準(JABIA-P1701)の見直しについて議論 ③ CN活動に関する共通課題の情報共有
2月7日	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG (Web会議)	① 自工会合同会議結果の共有・論議 ② 架装物ガイドラインの論議
2月8日	トレーラ部会／製品安全委員会 (当会会議室+Web会議)	① 整備事業者へトレーラ整備作業の周知活動の共有 ② 適正な交換部品の使用 雑誌広告出稿の確認
2月8日～ 9日	特装部会／サービス委員会工場見学会 (高知)	兼松エンジニアリング(株)工場見学会を実施
2月9日	バン部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 中小会員支援状況の中央業務委員会報告内容共有・論議 ② CN対応の今後の進め方論議
2月13日	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の論議
2月14日	バス部会／技術委員会・ワンマン機器 小委員会合同会議 (Web会議)	① 2023年度新規テーマの活動確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有
2月15日	常任委員会 (神奈川)	① 各委員会、各部会の現状と課題 ② 2024年度重点活動項目の論議、決定 (テーマ毎に論議し全体まとめ) ③ 2023年度決算見込み概要説明及び2024年度予算概要決定
	理事会メンバー見学会 (神奈川)	(株)パブコ本社・相模工場見学会を実施
	環境委員会／架装物リサイクル分科会 (当会会議室+Web会議)	① 第4回環境委員会で報告する内容を共有 ② 2024年度環境委員会事業計画を共有 ③ 2024年度架装物リサイクル分科会活動計画を論議
2月16日	特種部会／合同委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の共有・論議 ② 2024年度事業計画論議
	特装部会／脱着車技術分科会 (多目的コンテナ検討会) (当会会議室)	多目的コンテナの活用形態周知パンフレット作成について議論
2月19日	特装部会／業務委員会 (Web会議)	① 2023年度事業計画の推進状況報告 ② 第4回中央業務委員会報告内容の検討
	バン部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度技術テーマの進捗共有・論議 ② 中央技術委員会情報の共有
	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 点検整備記録簿(2013版と2018版)の統合についての論議 ② 都道府県トラック協会講習会実施結果の共有 ③ 2024年度工場見学会の場所と時期について検討
2月21日	安全衛生活動WG (Web会議)	① 2023年度労働災害事例研究 当会ホームページ掲載の準備 ② 会員代表者の安全意識の更なる醸成づくりの論議
2月22日	トレーラ部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 都道府県トラック協会講習会実施結果の共有 ② 2024年度特車通行制度緩和の共有
2月26日	環境委員会／工場環境分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度活動評価と2024年度取組み論議 ② 2024年度CN WG取組み論議
2月27日	特装部会／特装サービス委員会 (当会会議室)	① メンテナンスニュースNo.58原案検討
2月28日	特装部会／クレーン技術分科会工場見学会 (茨城)	① 2024年度事業計画案について議論 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ 日野自動車(株)古河工場見学会を実施

年月日	項目	概要
2月29日	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① CS/SUのトレーラ適用問題及び関連WGの共有・論議 ② 大型貨物自動車等の高速道路最高速度引き上げ関係の共有 ③ R158対応及びトレーラ後軸重規制緩和嘆願の論議
3月1日	第4回広報委員会 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 車体NEWS春号の校正・編集 ③ 車体NEWS2025記事作成部会の論議・決定
	トラック部会／第2回業務委員会 (千葉)	① 司工業(株)、エフテック(株)の工場見学を実施 ② 事業計画の進捗状況の共有・論議
3月4日	特装部会／塵芥車技術分科会 (当会会議室+Web会議)	① 尘芥車の製作基準 (JABIA-P1701) の見直しについて議論 ② その他情報交換
	バン部会／部会会議 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況共有・論議 ② CN部会活動について情報交換 ③ 2024年度計画についての論議
3月5日	中央技術委員会／突入防止装置技術委員会 (Web会議)	① 2023年度事業計画進捗状況の共有・論議 ② 2024年度計画論議・決定 ③ その他情報交換
	第4回環境委員会 (当会会議室+Web会議)	① 架装物リサイクル分科会報告 2023年度事業実績報告及び2024年度事業計画提案 主に環境基準適合ラベルの社会訴求、取得推進について議論 ② 工場環境分科会報告 2023年度事業実績報告及び2024年度事業計画提案 主にCN推進WGの活動 部会・支部連携について議論
3月6日	第4回中央技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画推進状況課題対応について意見交換 ② 2024年度事業計画の確認
3月7日	第4回中央業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② CNアンケート回答状況の共有及びCN推進方策の論議 ③ 中小会員NW強化WG及び安全衛生活動WGの共有
3月8日	特装部会／ダンプ車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② 特装部会CNWGに関する情報共有
3月11日	特装部会／脱着車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 ③ コンテナ法規遵守リーフレット更新について議論 ④ 「多目的コンテナ普及活動検討会」報告
3月12日	中央技術委員会／CS/SU & コネクテッド検討WG (Web会議)	① 架装工事ガイドライン内容論議 ② 架装CS確認書内容論議 ③ 架装電気工事チェックリスト内容論議
	トラック部会／部会会議 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況共有・論議 ② CN部会活動について情報交換 ③ 2024年度計画についての論議
	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	① JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正2024年度進め方の論議 ② カラーユニバーサルデザイン(CUD)事務局訪問日程の検討
	バス部会／塗装デザイン研究会 (Web会議)	① 塗装技術者向け勉強会(11/16)のアンケートまとめと次回への課題の共有 ② 2024年度勉強会の日程や進め方の論議 ③ バス車体色見本帳2023販売実績の共有
3月13日	特装部会／サービス委員会 (当会会議室)	① メンテナンスニュースNo58の原案・校正について検討
	バス部会／技術委員会・ワンマン機器 小委員会合同会議 (Web会議)	① 2023年度新規テーマの活動確認及び2024年度新規テーマの論議 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応 ③ 他団体活動の共有
	第3回支部連絡会 (当会会議室+Web会議)	① 支部事業活動の共有化 ② 次年度支部総会運営方法の確認

年月日	項目	概要
3月14日	常任委員会（当会会議室+Web会議）	① 支部登記について
	第275回理事会（当会会議室+Web会議）	① 審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 第2号議案 2024年度通常総会の改善(案)に関する件 第3号議案 2023年度事業報告 及び 2024年度事業計画(案)に関する件 第4号議案 2023年度収支報告(決算見込み)及び2024年度収支報告書(予算案)に関する件 第5号議案 評議員変更に関する件 ② 報告事項 1) 2023年度JABIA規格化・標準化／共通化／調査研究実績及び2024年度計画 2) 最近の官公庁情報 3) 支部からのトピックス(近畿支部) 4) その他報告事項 4-1 2024年度 車体工業会主要会議日程(見直し)について 4-2 2024年度 通常総会の開催について 4-3 2024年度 支部・部会総会計画について
	バス部会／業務委員会（Web会議）	① 中央業務委員会(3/7)及び環境委員会(3/5)資料の共有 ② 2023年度第四半期活動及び2024年度4月部会総会の確認 ③ バス部会長報告(2/6)内容の共有
3月15日	特装部会／技術委員会（当会会議室）	① 2023年度事業計画推進状況課題対応について意見交換 ② 2024年度事業計画の確認
3月18日	トレーラ部会／サービス委員会（当会会議室+Web会議）	① 2024年度都道府県トラック協会講習会資料の共有 ② 2024年度自動車検査官講習の日程及び講師会社の確認 ③ 2024年度工場見学会の日程及び行程について検討内容の共有
3月19日	特装部会／ミキサ車技術委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② C N活動に関する共通課題の情報共有 ③ 2024年度事業計画の確認
3月21日	中央技術委員会／テールゲートリフタ技術分科会（当会会議室+Web会議）	① 第4回中央技術委員会論議内容の共有 ② 2024年度活動計画論議 ③ 2024年度体制論議・決定
	トレーラ部会／製品安全委員会（当会会議室+Web会議）	① 整備事業者へトレーラ整備作業の周知活動の共有 ② 適正な交換部品の使用 雑誌広告出稿済の確認 ③ 日整連との連携及び訪問日程の検討
3月22日	特装部会／粉粒体運搬車技術分科会（当会会議室）	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について議論 ② C N活動に関する共通課題の情報共有
	トラック部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① 2023年度技術テーマの進捗共有・論議 ② 中央技術委員会情報の共有 ③ 2024年度計画についての論議
3月27日	トレーラ部会／技術委員会（当会会議室+Web会議）	① CS/SUのトレーラ適用問題及び関連WGの共有・論議 ② JASIC一般安全分科会(2/21)内容の共有及びR48改正WGメンバー検討 ③ 中央技術委員会(3/6)及び突入防止委員会(3/5)内容の共有

本部委員会会議回数

総会	1回	中央技術委員会／各委員会	33回
理事会	6回	環境委員会／各分科会	21回
常任委員会	6回	中央業務委員会	4回
評議員会	1回	広報委員会	4回
相談役会	1回	商用車ショーエンジニアリング委員会	4回
秋季会員大会	1回	中小会員ネットワーク強化WG	7回
賀詞交歓会	1回	安全衛生活動WG	3回
		C N専門委員会	3回
		C N勉強会	7回
		経団連／モビリティ委員会	1回
		現地現物による技能系社員研修会	4回
		支部連絡会	3回

6.支部活動報告

6-1 支部活動まとめ

		北海道	東北	新潟	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
支部総会	4月19日 札幌東急REIホテル	4月21日 江陽グランドホテル	4月21日 万代シルバーホテル	4月12日 芝パークホテル	5月19日 名鉄グランドホテル	4月25日 ホテルグランヴィア京都	5月11日 ANAクラウンズ広島 + 臨時総会(書面)	5月12日 リーガホテルセント高松	5月16日 八仙閣本店	
役員会	3回 部会・総会等検討	3回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	2回 事業計画等検討	6回 内 企画会議 5回	2回 事業計画等検討	4回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討	
安全	不正改造 排除活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境	CN本部情報 展開		○	○	○	○	○			○
	CN勉強会			○		○	○			○
その他	PL保険 加入促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	各種研修会	○	○		○	○	○	○	○	○
	他	合同部会 年末懇親会	工場見学会	支部会員大会 安全推進会議	県会内査察	部会分会 見学会 当会活動PR	部会・各3 見学会 販売店協会講習 会	工場見学会	見学会	合同3部会 営業担当地区 会

6-2. 支部活動実績一覧

2023年度事業計画（支部連絡会 & 各支部活動）

議長：須河理事 副議長：景井理事 事務局：内藤

◎:大幅過達(120%以上) ○:計画通り(100%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日 程 2023年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
支部連絡会	連絡会開催予定：3回／年	各支部長 支部事務局					○		○			○					
	1. 支部活動の充実化 <ねらい> 各支部間の事業実施状況を相互確認し、よいとこどりをすることにより、支部活動の充実化を図る。		(1)各支部事業計画の共有化、よいとこ取り活動 ①支部の事業計画推進状況報告 ②支部活動での課題、問題点の解決策論議				○		○			○		○	●	・1/4期事業計画の実績展開（6/14）、集約（6/30） ・2/4期事業実績の共有（9/20）、工場見学会（矢野特殊自動車） 3/4期事業実績の共有（12/13）、4/4期事業実績の共有（3/13）	
			(2)正・支部会員カバー率アップ推進 ①非会員の洗い出しと情報共有 ②非会員→正・支部会員への勧誘				○		○			○		○	○	・前年度に対して正会員+1、地方正会員-1 ・非会員リストの最新化を図り、支部連絡会にて共有化、会員化を推進する（9/20、12/13、3/13）	
			(3)支部地域会員の本部会員化 ①本部会員マスト化ガイドラインに基づく正会員化推進・フォロー										○				・上記(2)の活動により正会員化の推進を図る
	2. 支部間相互や本部との連携強化 <ねらい> 各支部間や支部～本部間の連携強化を図る。日常の連携や定期的に連絡会を開催し関係する共通課題の解決を図る。		(1)支部情報のタイムリーな本部への連絡報告 ①総会日程、予実算等					○		○			○	○	○	●	・第1回支部連（9/20）、第2回（12/13）、第3回（3/13）次年度総会日程確認、共有と本部出席者共有及び運営方法確認
			(2)本部活動補助金の会計報告の実施 ①報告方法と次年度補助金額の見直し										○	○	○	●	・4月1日時点の各支部会員状況から補助金額算出し支部へ確認展開（6/14）、了承 ・計画通り7月に補助金支払実施 ・次年度各支部会員状況の展開（3/13）、支部登記について連絡（3/13）
			(3)支部連絡会の進め方改善														
	1. 北海道 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応、会員支援活動 (3)研修会、部会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（4月）・役員会（7月、11月） (2)・不正改造車排除運動推進会議（5月）、ポスター配布・地域会員（トラック部会）1社入会 (3)・合同部会（9月）部会報告、近況報告等・年末懇親会（12/6）	
	2. 東北 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応、会員支援活動 (3)研修会、部会/合同部会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（4月）・臨時役員会（5月、7月）役員会（3月） (2)「不正改造車を排除する運動への協力」の展開（6月）、不正改造排除のチラシ・ポスター送付（6月） (3)研修会（12月）工場見学（矢野特殊自動車）	
各支部活動	3. 新潟 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。	各支部長 支部事務局	(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応、会員支援活動 (3)情報交換会開催（講習会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（4月）(2)役員会、懇親会（3月）・地方行政庁との懇談会、説明会（4月） ・不正改造排除運動推進会議（5月）、チラシ・ポスター送付（6月）・点検整備推進運動（9月、10月） (3)・会員大会、懇親会（10月）・CN勉強会（3月）(7)役員会・懇親会（3/8）	
	4. 関東 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応、会員支援活動（回送運行手続等） (3)都県会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会当会（4月）・役員会（9月、2月）(2)「不正改造車排除運動への協力」（5月） ・不正改造車排除研修（各都県会）（6月）、「冬季省エネボーナス取組」（11月）展開、不正改造排除のチラシ・ポスター送付（6月）(3)神奈川、茨城県会開催（6月）、栃木、茨城查察	
	5. 中部 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応活動 (3)会員活性化の支援 (4)研修会、部会等の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（5月）・役員会（4月）・企画会議（7月、9月、12月、1月）(2)回送運行実績報告（5月） ・不正改造車排除活動（6月）・点検整備、自賠責推進運動（9・10月） (3)愛知県自動車会館PR展示（7月）・「CN & 岐阜車体見学」（7月）・中国支部交流会（10月） ・秋季研修会（10月）・浜松航空自衛隊（11月）・東海特装車CN改善（3月）	
	6. 近畿 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応、会員支援活動 (3)研修会、講習会の開催 (4)部会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（4月）・役員会（9月、3月）(2)不正改造車排除運動啓発ポスター・チラシ配布、講習会（6月）・関係省庁からの情報展開・回送運行許可手続き (3)製造部会工場見学 極東開発工業（7月）・研修会工場見学 日本フルーツ（11月）・CN勉強会（1月） (4)トラックバン部会、特種バス部会、特装部会、トレーラ部会（6月、10月、2月）	
	7. 中国 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応、会員支援活動 (3)会員支援活動 (4)研修会、部会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（5月）、臨時総会（書面7月）・役員会（6月、9月、12月、3月） (2)不正改造排除運動ポスター・チラシ配布（6月）、(3)車体NEWS配布（6月、8月、12月、3月） (4)研修会 工場見学 東海特装車（10月）	
	8. 四国 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応、会員支援活動 (3)研修会、部会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（5月）・役員会（5月） (2)不正改造車排除運動啓発用ポスター、チラシ等を会員へ配布（6月）、不正改造車排除研修会（6月）(3)矢野特殊自動車工場見学（11月）	
	9. 九州 <ねらい> 支部事業計画を的確に推進し支部活動の充実化を図る。		(1)支部総会、役員会等の実施 (2)安全対応活動 (3)会員活性化の支援 (4)研修会、部会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)支部総会（5月）・支部役員会（4月、8月、2月）、D4との業務懇談会（1月） (2)不正改造車排除運動ポスター・チラシを送付（5月） (3)回送運行許可手続き、車体NEWS配布（6月、8月、12月、3月） (4)合同3部会（4月）、秋季研修会（11月）・情報交換会（12月）、CN勉強会（3月）	

第2号議案

2023年度 決算書

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

2024年5月24日

一般社団法人 日本自動車車体工業会

目 次

収支計算書	1
収益事業収支報告	2
正味財産増減計算書	3
貸借対照表	4
財産目録	5
計算書類に対する注記	6
監査報告書	7

收支計算書

自：2023年4月1日
至：2024年3月31日

1. 経常費

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
当期収入計 A	137,871,862	141,196,807	△ 3,324,945	
正会員会費収入	97,091,600	97,107,290	△ 15,690	
準会員会費収入	5,040,000	5,060,000	△ 20,000	
部会会費収入	18,502,000	18,544,000	△ 42,000	
負担金収入	4,350,000	5,055,740	△ 705,740	
雑収入	1,940,944	2,346,309	△ 405,365	
本部負担金	6,542,000	6,542,000	0	
繰入金収入	2,905,318	5,467,428	△ 2,562,110	
収益事業収入	1,500,000	1,074,040	425,960	
前期繰越収支差額 B	85,489,665	85,489,665	0	
収 入 合 計 C (A+B)	223,361,527	226,686,472	△ 3,324,945	

(支出の部)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業費計 D	121,620,479	106,131,555	15,488,924	
環境対策事業費	13,086,614	10,207,243	2,879,371	
安全対策事業費	20,543,452	17,795,890	2,747,562	
会員支援事業費	14,778,467	11,206,479	3,571,988	
広報事業費	11,897,560	11,327,431	570,129	
部会事業費	51,672,386	44,389,293	7,283,093	
本部負担金	6,542,000	6,542,000	0	
負担金支出	1,600,000	3,589,179	△ 1,989,179	
収益事業費	1,500,000	1,074,040	425,960	
管理費計 E	48,897,481	44,890,764	4,006,717	
負担金	5,304,800	5,165,500	139,300	
会議費	1,000,000	794,107	205,893	
管 印刷製本費	248,845	302,309	△ 53,464	
理 旅費交通費	800,000	260,712	539,288	
費 通信運搬費	1,115,000	864,231	250,769	
消耗品費	310,000	268,932	41,068	
借室費	6,076,890	5,998,590	78,300	
賃借料	771,946	778,700	△ 6,754	
総会費・大会費	8,920,000	8,426,235	493,765	
租税公課	350,000	375,700	△ 25,700	
雑費	1,810,000	1,076,610	733,390	
支払負担金	0	425,680	△ 425,680	
人件費	22,190,000	20,153,458	2,036,542	
小計 F (D+E)	170,517,960	151,022,319	19,495,641	

2. 積立金

積立金計 G	7,000,000	7,000,000	0	
退職金準備金	1,000,000	1,000,000	0	
特定プロジェクト準備金	6,000,000	6,000,000	0	
次期繰越収支差額 H (C-F-G)	45,843,567	68,664,153	△ 22,820,586	
当期支出計 I (F+G+H)	223,361,527	226,686,472	0	
積立金計 J	8,905,318	5,024,540	3,880,778	
特定プロジェクト支出	6,000,000	2,119,222	3,880,778	
バス車体用塗色見本帳等支出	2,905,318	2,905,318	0	

収益事業収支報告

自：2023年4月 1日
至：2024年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

科目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業収入	2014年度版バス車体用塗色見本帳 2021年度版バス車体規格集、他 ※	1,500,000	1,074,040	425,960	

(支出の部)

科目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業経費	(1) 材料費 ※ (2) 雑費 (3) 人件費	1,380,000 0 120,000	939,262 14,778 120,000	440,738 △ 14,778 0	
	計	1,500,000	1,074,040	425,960	

貸借対照表

2024年3月31日現在

(流動資産)

(単位:円)

普通預金	2,109,696
未収金	46,860
2021年度版バス規格集在庫	181,676
2014年度版バス車体用塗色見本帳在庫	6,134,068
小計	8,472,300

(流動負債)

未払金	14,778
小計	14,778
期末資産	8,457,522

正味財産増減計算書

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	2023年度	2022年度	増減
I.一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取会費	120,711,290	112,255,665	8,455,625
②受取負担金	5,055,740	18,803,626	△ 13,747,886
③雑収益	2,346,309	2,448,068	△ 101,759
④事業収益	1,074,040	684,200	389,840
⑤繰入金収入	2,562,110	0	2,562,110
経常収益計	131,749,489	134,191,559	△ 2,442,070
(2) 経常費用			
⑥事業費	99,908,891	84,269,424	15,639,467
給与手当	37,577,545	33,958,941	3,618,604
福利厚生費	5,964,574	5,364,377	600,197
旅費交通費	3,000,248	2,152,689	847,559
通信運搬費	41,594	30,260	11,334
減価償却費	319,338	510,183	△ 190,845
会議費	6,310,996	5,085,815	1,225,181
印刷費	2,232,493	2,463,388	△ 230,895
借室費	12,924,408	13,479,964	△ 555,556
賃借料	1,677,766	1,335,583	342,183
材料費	939,262	579,460	359,802
支払負担金	3,102,000	3,099,000	3,000
委託費	7,829,475	8,090,291	△ 260,816
調査費	8,485,771	7,824,237	661,534
研修会費	1,363,131	0	1,363,131
総会費	4,088,842	0	4,088,842
雑費	462,269	295,236	167,033
⑦負担金支出	3,589,179	1,044,873	2,544,306
⑧管理費	45,038,980	38,478,281	6,560,699
給与手当	17,385,129	15,712,711	1,672,418
福利厚生費	2,768,331	2,489,764	278,567
関係団体等涉外費	5,165,500	4,844,500	321,000
借室費	5,998,590	5,505,901	492,689
総会費	8,426,235	4,208,582	4,217,653
会議費	794,107	826,739	△ 32,632
印刷費	302,309	203,765	98,544
交通費	260,712	373,202	△ 112,490
通信費	864,231	1,078,820	△ 214,589
賃借料	778,700	545,521	233,179
消耗品費	268,932	444,548	△ 175,616
租税公課	375,700	425,300	△ 49,600
支払負担金	425,680	0	425,680
雑費	1,076,610	1,610,544	△ 533,934
減価償却費	148,214	208,384	△ 60,170
経常費用計	144,947,871	123,792,578	21,155,293
当期経常増減額	△ 13,198,382	10,398,981	△ 23,597,363
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
(2) 経常外費用	3,119,222	11,700,000	△ 8,580,778
当期経常外増減額	△ 3,119,222	△ 11,700,000	8,580,778
当期一般正味財産増減額	△ 16,317,604	△ 1,301,019	△ 15,016,585
一般正味財産期首残高	202,780,549	204,081,568	△ 1,301,019
一般正味財産期末残高	186,462,945	202,780,549	△ 16,317,604
II.正味財産期末残高	186,462,945	202,780,549	△ 16,317,604

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	2023年度	2022年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	200,000	200,000	0
預金	77,350,286	99,158,456	△ 21,808,170
仮払金		5,280	△ 5,280
未収入金	77,138	127,774	△ 50,636
在庫	6,315,744	330,066	5,985,678
流動資産計	83,943,168	99,821,576	△ 15,878,408
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給与準備積立金	16,781,828	15,781,828	1,000,000
特定プロジェクト準備金	17,680,079	13,799,301	3,880,778
備品更新積立金	8,757,092	8,757,092	0
財務安定準備金	45,000,000	45,000,000	0
バス車体塗色見本帳等準備金	0	2,905,318	△ 2,905,318
5団体連携事業準備金	20,000,000	20,000,000	0
特定資産計	108,218,999	106,243,539	1,975,460
(2) その他の固定資産			
什器備品	1,294,749	1,762,301	△ 467,552
差入保証金	16,560,483	16,560,483	0
その他の固定資産計	17,855,232	18,322,784	△ 467,552
固定資産計	126,074,231	124,566,323	1,507,908
資産合計	210,017,399	224,387,899	△ 14,370,500
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	683,094	453,210	229,884
未払消費税	260,800	0	260,800
預り金	5,828,732	5,372,312	456,420
流動負債計	6,772,626	5,825,522	947,104
2. 固定負債			
退職給与引当金	16,781,828	15,781,828	1,000,000
固定負債計	16,781,828	15,781,828	1,000,000
負債合計	23,554,454	21,607,350	1,947,104
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	186,462,945	202,780,549	△ 16,317,604
負債及び正味財産合計	210,017,399	224,387,899	△ 14,370,500

財産目録

2024年3月31日現在

(単位:円)

1. 資産の部

1) 流動資産

・現 金	一般会計	<u>200,000</u>
・銀行預金		<u>77,350,286</u>
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	一般会計	14,434,530
普通預金 三菱UFJ銀行 丸之内支店	一般会計	39,155,840
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	収益事業	2,109,696
	特装部会	4,861,132
	特種部会	3,369,414
	トラック部会	855,617
	バン部会	633,814
	トレーラ部会	1,977,751
	バス部会	4,522,133
	小型部会	784,603
	資材部会	4,645,756
・未収入金		<u>77,138</u>
・期末在庫		<u>6,315,744</u>
2021年度版バス車体規格集	収益事業	<u>181,676</u>
2023年度版バス車体用塗色見本帳	収益事業	<u>6,134,068</u>
	流動資産計	<u>83,943,168</u>
2) 固定資産		
(1) 特定資産		
・退職給与準備積立金		<u>16,781,828</u>
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店		<u>16,781,828</u>
・特定プロセス準備積立金		<u>17,680,079</u>
普通預金 三井住友銀行 丸之内支店		<u>17,680,079</u>
・備品更新積立金		<u>8,757,092</u>
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店		<u>8,757,092</u>
・財務安定準備金		<u>45,000,000</u>
定期預金 三菱UFJ銀行 丸之内支店		<u>45,000,000</u>
・5団体連携事業準備金		<u>20,000,000</u>
普通預金 三菱UFJ銀行 丸之内支店		<u>20,000,000</u>
	特定資産計	<u>108,218,999</u>
(2) その他の固定資産		
・什器備品		<u>1,294,749</u>
・差入保証金		<u>16,560,483</u>
	その他の固定資産	<u>17,855,232</u>
	資産合計	<u>210,017,399</u>

2. 負債の部

3) 流動負債

・未払金		<u>683,094</u>
・未払消費税		<u>260,800</u>
・預り金		<u>5,828,732</u>
	流動負債計	<u>6,772,626</u>

4) 固定負債

・退職給与引当金		<u>16,781,828</u>
	固定負債計	<u>16,781,828</u>
	負債合計	<u>23,554,454</u>
	差引正味財産	<u>186,462,945</u>

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

工業会の重要な会計方針および収支計算書における資金の範囲は、次に掲げるとおりとする。

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

棚卸資産……移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法による

無形固定資産……定率法による

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金……

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上する。

退職給付引当金……

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上する。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算する。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引……

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 税効果会計の通知

税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適切な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用する。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(7) 収支計算書における資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、短期債権債務（未収会費、未収入金、仮払金、未払金、預り金、および短期借入金等）および、これらに準ずる流動資産、流動負債とする。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期減少額	当期増加額	当期末残高
退職給与引当金	15,781,828		1,000,000	16,781,828
特定プロジェクト準備金	13,799,301	2,119,222	6,000,000	17,680,079
備品更新積立金	8,757,092	0	0	8,757,092
財務安定準備金	45,000,000	0	0	45,000,000
バス車体塗色見本帳等準備金	2,905,318	2,905,318	0	0
5団体連携事業準備金	20,000,000	0	0	20,000,000
合計	106,243,539	5,024,540	7,000,000	108,218,999

監査報告書

一般社団法人日本自動車車体工業会
会長 増井 敬二 殿

2024年4月9日

一般社団法人日本自動車車体工業会
監事 宮幸 朗

監事 田村 元

監事 森 茂

私どもは、2023年4月1日から2024年3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を確認しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、関係書類など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を確認しました。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認めます。

以上